

# 放課後の子どもたちへ一歩進めよう



平成18年12月  
第12回いるま生涯学習フェスティバル「地域と子ども部会」

## 「放課後の子どもたち」アンケート調査実施について

### いるま生涯学習フェスティバルについて

入間市では、市民の様々な生涯学習活動を推進し、その学習成果を「まちづくり」に生かしていくため、「いるま生涯学習フェスティバル」を開催しています。昨年度まで「子育て部会」という部会名で活動してきた部会からは、子育てに関わる情報を発信する市民グループ「いるま子育て情報発信隊」と、子どもに関わる行政、市民団体、そして有志のネットワーク「いるま子育てしやすいまちづくり連絡会」が生まれ（H17年度）活動を続けています。第12回目である今年度は「子育て部会」を「地域と子ども部会」とし、地域の中の子どもたちについて考えていくことにしました。

### 「地域の中で育つ子どもたちを考える」

我々大人たちは、「最近の子どもは…」という言葉で始めて「遊ばなくなった」「コミュニケーションの力が落ちている」「テレビゲーム、携帯ゲームばかりしている」「塾や習い事で忙しく、遊ぶ時間がない」など、「子どもたちに問題あり」という切り口で話をするのがよくあります。しかし、本当にそうなのでしょうか？もし、そうならば、それはなぜでしょうか？入間市に住む子どもたちについて考えるとき、その結論を出すのに十分な情報を我々大人は持っているのでしょうか？

「地域と子ども部会」の核になっている「いるま子育てしやすいまちづくり連絡会」では、発足以来、入間市の子どもたちやその育ちなどについて話し合ってきました。その中で「子どもたちのありのままの姿をまず知るべき」という結論に至りました。「放課後の子どもたち」の生活の様子を調査し、実態を知った上で初めて「我々が大人としてできること、すべきことが見えてくるのではないか」と考えたのです。その結果、今年度の生涯学習フェスティバルで、子どもたちの放課後の生活についてアンケート調査を行うことにしました。

「地域と子ども部会」では、このアンケートの結果を元に、一人ひとりの大人が子どもの遊びや育つ環境について考えるきっかけにして欲しいと思っています。そして「いるま子育てしやすいまちづくり連絡会」を始め、市民・市民団体・行政が協働し、子どもたちがそれぞれの「こどもの時間」を十分に過ごし、育っていける入間市にしていきたいと考えています。

## 目次

1 .	目的	.....	3
2 .	方法	.....	3
	調査地域		
	対象者		
	抽出方法		
	収集方法		
	調査期間		
	実施主体		
3 .	アンケート内容	.....	4
4 .	アンケート協力者	.....	5
5 .	基本属性	.....	5
	幼児学年別割合		
	幼児男女別割合		
	小学生学年別割合		
	小学生男女別割合		
	中学生性別		
	居住地区		
	住居の形体		
6 .	放課後の生活	.....	7
	帰宅時間		
	遊ぶ相手		
	よく遊ぶ場所		
	遊びの種類		
	遊びから帰る時間(きっかけ)		
	あったらいいと思う遊び場(理想の遊び場)		
	部活動(中学生のみ)		
	塾(中学生のみ)		
	習い事		
	テレビ・ビデオ(DVD)を見る時間		
	ゲーム(TV・携帯・PC)をする時間		
	メールの利用(中学生)		
	夕食を食べる相手		
7 .	自由意見(幼児～小学校低学年を持つ親・ アンケートの有効性についても含む)	.....	39
8 .	まとめ	.....	50
9 .	各参加団体より感想・意見	.....	51
10 .	第12回いるま生涯学習フェスティバル当日配布資料	.....	巻末

## 調査概要

### 1. 目的

入間市に住む子どもたち（対象：3～15才）の放課後の様子を明らかにする。  
アンケート結果を元に、各団体及び行政が今後どのような取り組みが出来るかを考えていく。

### 2. 方法

調査地域： 入間市全域

対象者： 下記参照

	アンケート対象者数（ ）内は配布枚数に対する回収率
保育所・園児の保護者	734
幼稚園児の保護者	616
小学校低学年（1，2年生）とその保護者	410
小学校中学年（3，4年生）	450
小学校高学年（5，6年生）	470
中学生	425
合計	3105（人）（回収率約80%）

抽出方法： 市内12の幼稚園・保育所・園を抽出し、各学年から1クラスずつ  
小学校は地区ごとに低・中・高学年から1クラスずつ  
中学校は全11校から1クラスずつ

収集方法： 各施設に持参して依頼・回収  
教育委員会から各学校に配布・回収

調査期間： 平成18年10月17日～10月27日

実施主体： 第12回いるま生涯学習フェスティバル実行委員会「地域と子ども部会」  
〔アドバイザー〕： 駿河台大学 経済学部教授 南林さえ子

地域と子ども部会参加団体

NPO法人子育て広場あいくる

NPO法人えじそんくらぶ・入間おやこ劇場

入間市親子支援課・児童福祉課・生涯学習課・児童センター

いるまファミリー・サポート・センター・いるま塾の会

いるま子育て情報発信隊・教育評論家 斎藤次郎

障がい者手織り支援ボランティアグループオリオン・茶々子育て支援センター

どろだんごの会・あんず幼稚園・こどものくに保育園

市内保育士・幼稚園教諭

（以上、いるま子育てしやすいまちづくり連絡会）

社団法人入間青年会議所・児童センターボランティア会・わくわくパーク運営会

3 . アンケート内容

( 〇 は実施・ - は対象外 )

	保育所・園	幼稚園	小学校 低学年	小学校 中学年	小学校 高学年	中学生
学年						
性別						
居住地区						
住居の形体						
帰宅時間						
遊び相手						
遊び場所						
遊びの種類						
理想の遊び場						
帰宅のきっかけ						
部活動への参加						
部活動の活動回数						
塾通いの有無						
塾に通う日数						
習い事の有無						
習い事の回数						
習い事の種類						
テレビ・ビデオの 視聴時間						
ゲームで遊ぶ時間						
メールの利用						
夕食の相手						
夕食の時間						
アンケートの有効性						
自由意見						

4 .アンケートの協力者( 地区別 )

単位:(人)

	豊岡	東金子	金子	藤沢	宮寺・ 二本木	西武	市外他	合計
保育所・園児の保護者	190	21	69	79	60	7	8	434
幼稚園児の保護者	187	41	9	216	39	16	51	559
小学校低学年	55	56	54	57	54	57		333
小学校中学年	60	49	69	64	41	63		346
小学校高学年	74	56	78	57	62	69		396
中学生	129	34	37	66	28	58		352
合計	695	257	316	539	284	270	59	2420

5 .基本属性

【幼児・学年別】

単位:(人)

	保育所・園	幼稚園
年少児(3才児)	119	169
年中児(4才児)	171	201
年長児(5才児)	142	189
合計	434(無回答含む)	559

【幼児・性別】

単位:(人)

	男	女	合計
保育所・園	222	212	434
幼稚園	271	288	559

【小学生学年別・性別】

単位:(人)

	男	女	合計
小学校低学年	171	161	333
小学校中学年	171	175	346
小学校高学年	194	198	396

【中学生性別】

単位:(人)

	男	女	合計
中学生	172	179	352

【住居の形体】

単位：(%) (数値は小数点以下四捨五入)

	保育所・園	幼稚園	小学校 低学年	小学校 中学年	小学校 高学年	中学生
集合住宅 1～3階	15%	13%	12%	13%	16%	10%
集合住宅 4階以上	20%	23%	12%	19%	12%	23%
一戸建て	63%	64%	75%	67%	71%	65%
その他	1%	0%	1%	0%	1%	1%
無回答	1%	0%	0%	1%	0%	1%

\* 6割以上が一戸建てに居住していることが分かります。

単位：(%) (数値は小数点以下四捨五入)

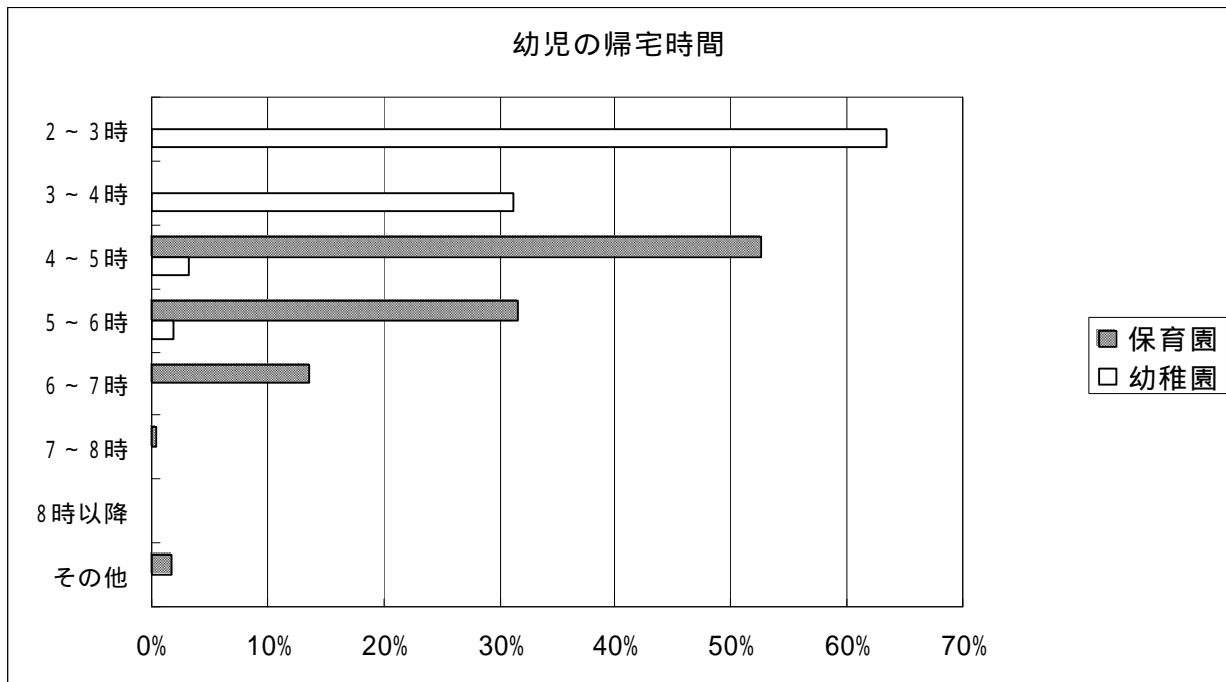
	豊岡	東金子	金子	宮寺 二本木	藤沢	西武
集合住宅 1～3階	20%	6%	8%	5%	20%	20%
集合住宅 4階以上	30%	9%	0%	4%	16%	16%
一戸建て	50%	85%	91%	91%	62%	62%
その他	1%	0%	1%	0%	1%	1%
無回答	0%	0%	1%	0%	1%	0%

\* 豊岡、藤沢、西武地区で集合住宅の率が高く、東金子、金子、宮寺・二本木地区で一戸建ての率が高くなっています。

## 6 . 放課後の生活

### 【幼児の帰宅時間】(グラフ1)

『保育所・園、幼稚園から家に帰るのは何時ごろですか』



単位：(人)

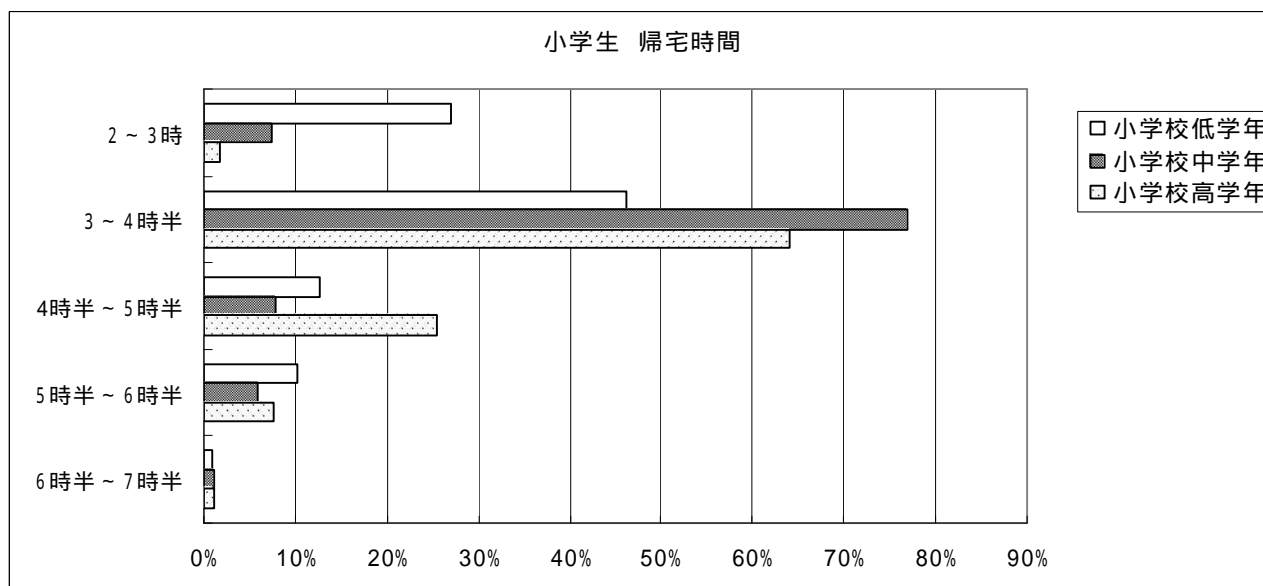
帰宅時間	保育所・園	幼稚園	合計
2～3時	0	354	354
3～4時	0	175	175
4～5時	228	18	246
5～6時	137	11	148
6～7時	59	0	59
7～8時	2	0	2
8時以降	1	0	1
その他	7	1	18
合計	434	559	993

\* 保育所・園に通う幼児では、4～5時がもっとも多くなっており、幼稚園に通う幼児では、2～3時に帰宅する子が最も多くなっています。



【小学生の帰宅時間】(グラフ2)

『学校から家に帰るのは何時ごろですか』



単位:(人)

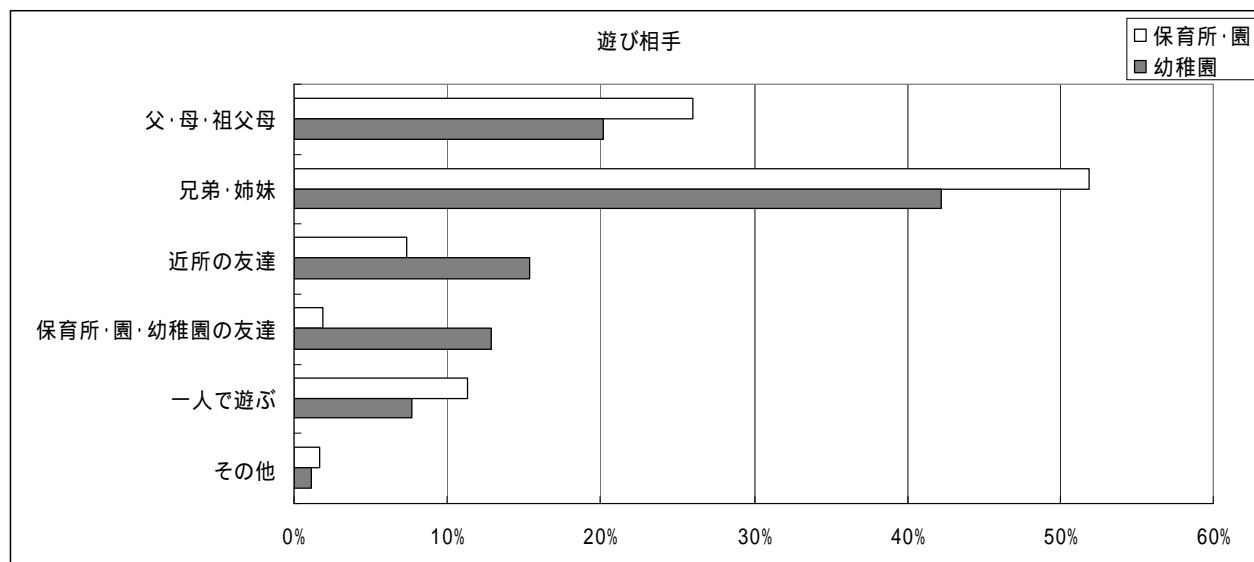
	小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	合計
2 ~ 3時	90	26	7	123
3 ~ 4時半	154	266	254	674
4時半 ~ 5時半	42	27	101	170
5時半 ~ 6時半	34	20	30	84
6時半 ~ 7時半	3	4	4	11
その他	7	2	0	9
無回答	3	1	0	4
合計	333	346	396	1075

\*多くの小学生が3～4時半の間に帰宅しています。(4時間授業ではおおよそ2時下校、5時間授業ではおおよそ3時下校、6時間授業ではおおよそ4時下校)それ以降、帰宅する児童に関しては、学童保育などに通っているなどが考えられます。

【放課後の遊びについて】

遊び相手

【幼児】(グラフ3)『よく遊ぶ相手はだれですか』



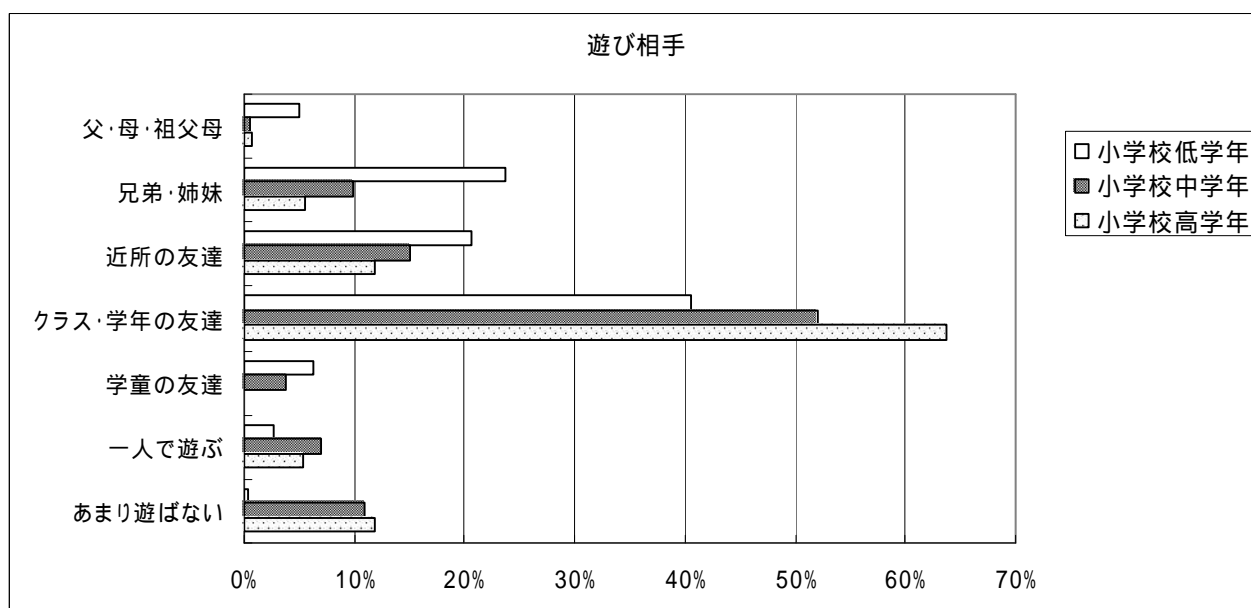
単位:(人)

	保育所・園	幼稚園	合計
父・母・祖父母	113	113	226
兄弟・姉妹	225	236	461
近所の友達	32	86	118
保育所・園・幼稚園の友達	8	72	80
一人で遊ぶ	49	43	92
その他	7	6	13
無回答		3	3
合計	434	559	993

\* 幼児では、兄弟・姉妹と遊ぶ割合がもっとも高く、次に多いのが父・母・祖父母で、同年代の友だちと遊ぶことより多くなっています。

【小学生】(グラフ4)

『よく遊ぶ相手はだれですか』



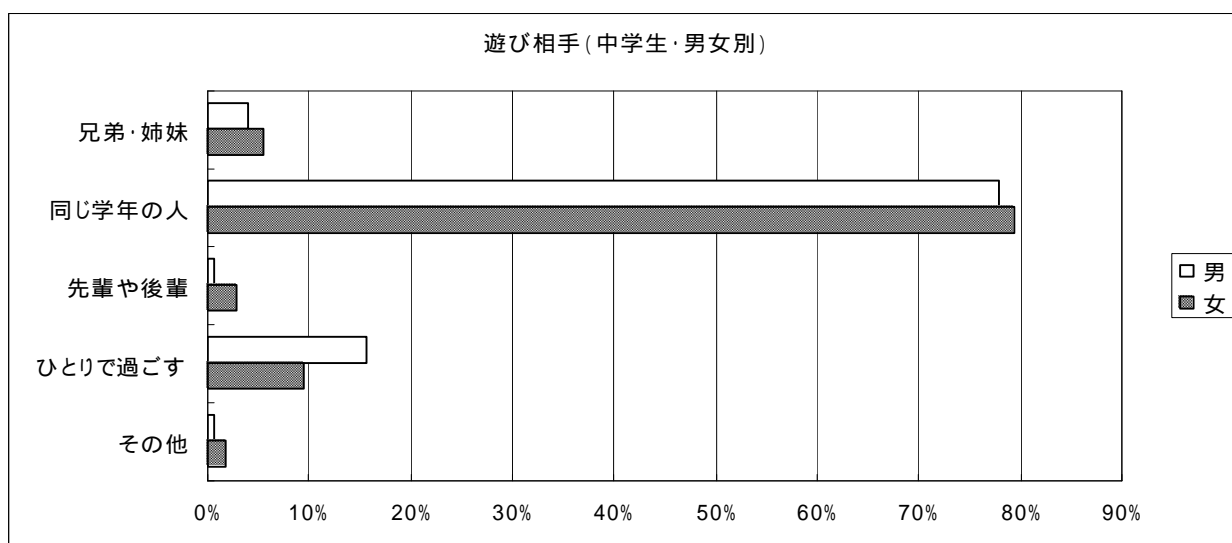
単位:(人)

	小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	合計
父・母・祖父母	17	2	3	22
兄弟・姉妹	79	34	22	135
近所の友達	69	52	47	168
クラス・学年の友達	135	180	252	567
学童の友達	21	13	0	39
一人で遊ぶ	9	24	21	54
あまり遊ばない	1	38	47	86
その他	1	3	4	8
無回答	1			1
合計	333	346	396	1075

\* 小学生の遊び相手では、圧倒的に同学年の子どもが多く、異年齢での遊びの場が消失していることが確認できます。低学年では兄弟・姉妹や父・母・祖父母が遊び相手にあがっていますが、学年と共に、少なくなっていくのが分かります。また、「あまり遊ばない」という子が中学年から現れ、少しですが、高学年で増えています。

【中学生】(グラフ5)

『よく遊ぶ相手はだれですか』



単位:(人)

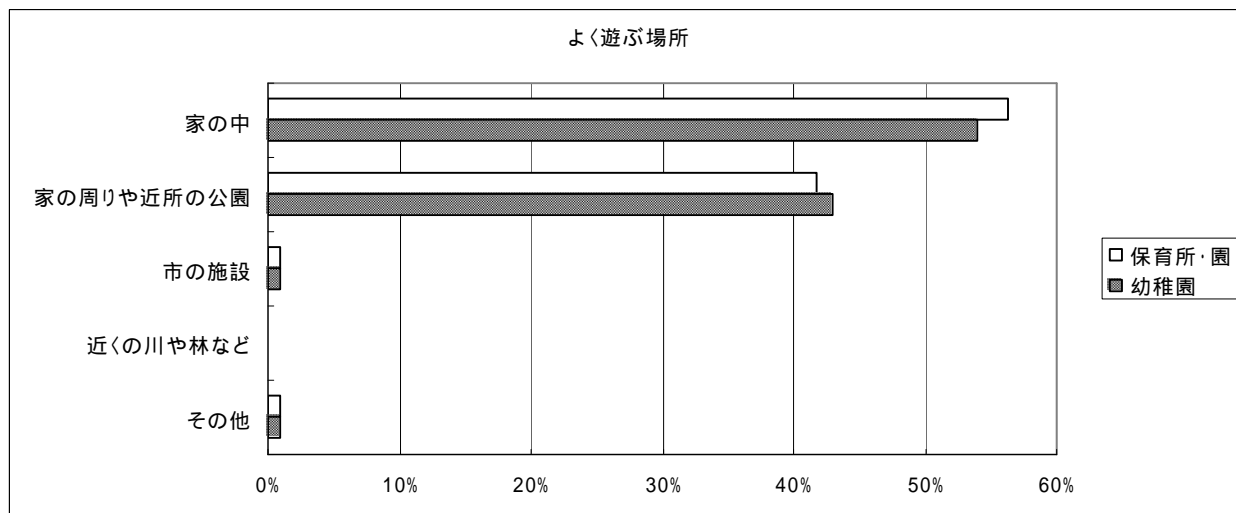
	男	女	合計
兄弟・姉妹	7	10	17
同じ学年の人	134	142	276
先輩や後輩	1	5	6
ひとりで過ごす	27	17	44
その他	1	3	4
無回答	2	3	5
合計	172	179	352

\* 中学生においても、同学年の友だちと遊ぶ人が圧倒的です。一人で過ごすと答えた子どもは、女子より男子が多くなっています。

【遊ぶ場所】

【幼児】(グラフ6)

『よく遊ぶ場所はどこですか』



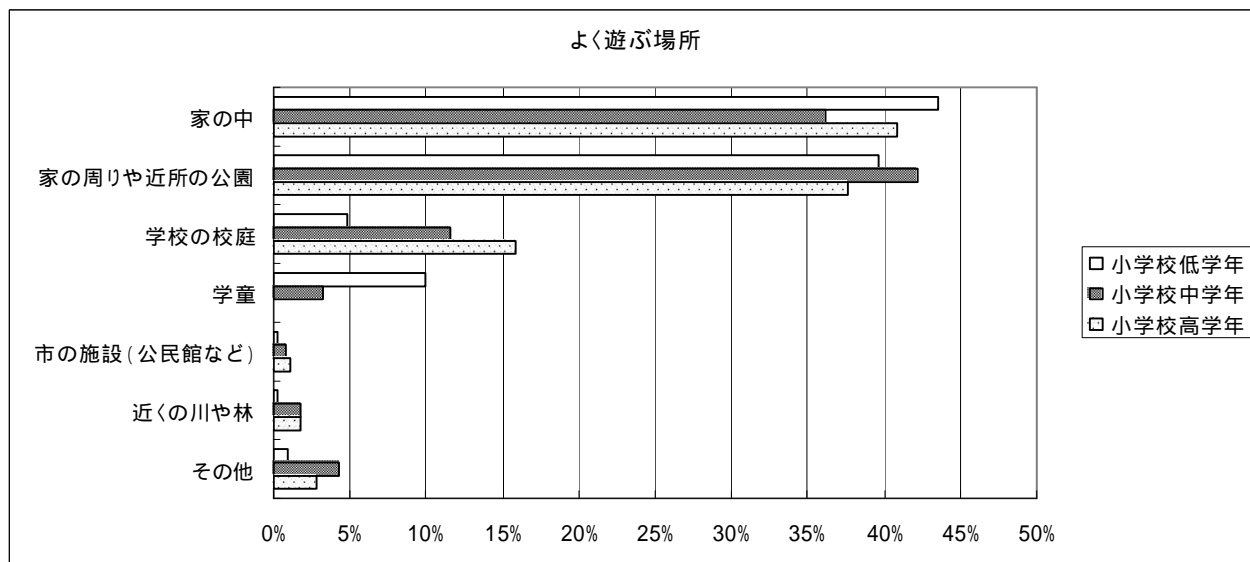
単位:(人)

	保育所・園	幼稚園	合計
家の中	244	303	547
家の周りや近所の公園	181	238	419
市の施設	4	7	11
近くの川や林など	1	2	3
その他	4	5	9
無回答		4	4
合計	434	559	993

\* 幼児全体として、家の中で遊ぶことが一番多くなっています。次に多いのは、「家の周りや近くの公園」で、それ以外はあまりないということが分かります。

【小学生】(グラフ7)

『よく遊ぶ場所はどこですか』



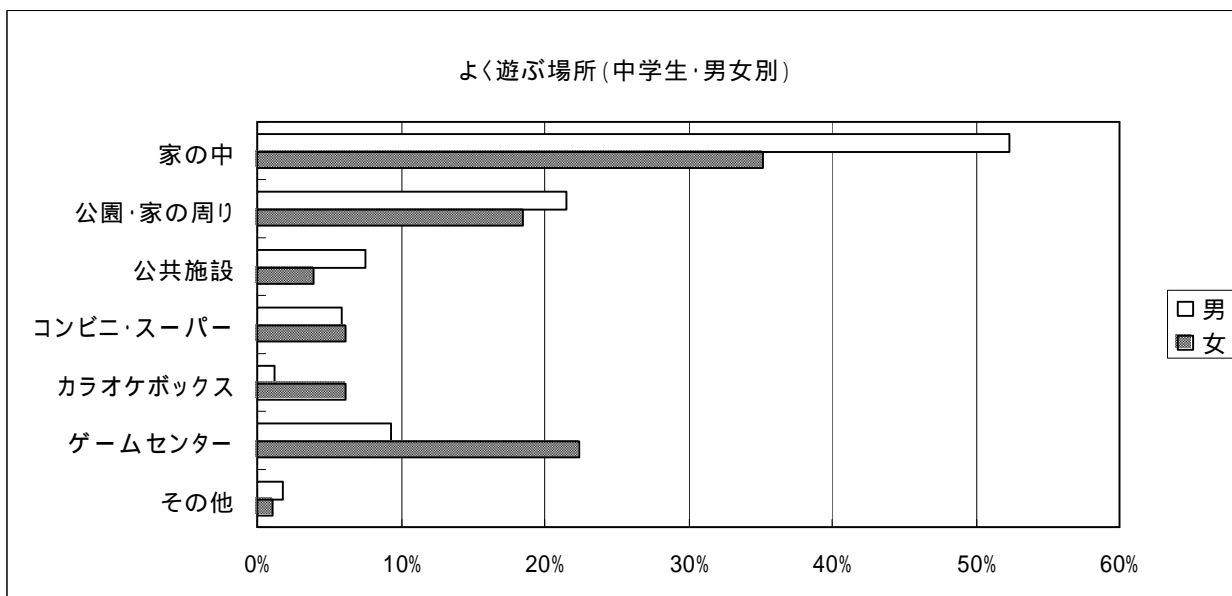
単位:(人)

	小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	合計
家の中	145	125	162	432
家の周りや近所の公園	132	146	149	427
学校の校庭	16	40	63	119
学童	33	11	0	44
市の施設(公民館など)	1	3	4	8
近くの川や林	1	6	7	14
その他	3	15	11	29
無回答	2			2
合計	333	346	396	1075

\* 中学年を除いて、「家の中」で遊ぶ子の割合が一番高くなっています。次に多いのは、「家の周りや近くの公園」です。「学校の校庭」で遊ぶ子は学年が上がるに連れて、増えています。自転車で行動して良い範囲が、学校から指定されていることとも関係があると思われます。

【中学生】(グラフ8)

『よく遊ぶ場所はどこですか』



単位:(人)

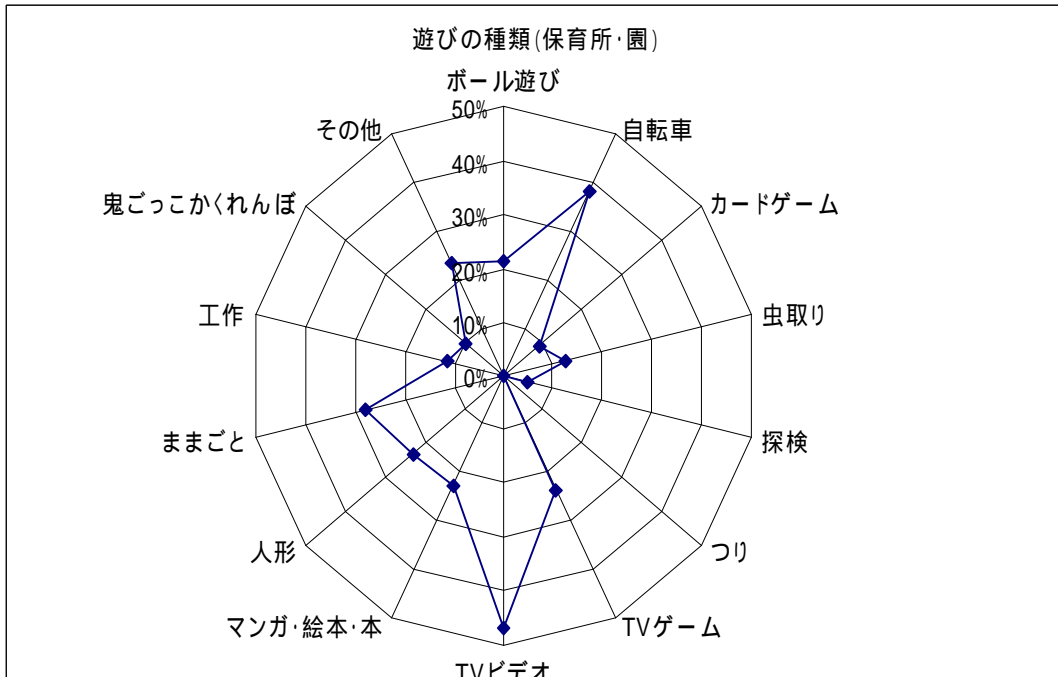
	男	女	総数
家の中	90	63	153
公園・家のまわり	37	33	70
公共施設	13	7	20
コンビニ・スーパー	10	11	21
カラオケボックス	2	11	13
ゲームセンター	16	40	56
その他	3	12	15
無回答	2	2	4
合計	172	179	352

\* 家の中で過ごすのは女子よりも男子が多いことが分かります。ゲームセンター、カラオケボックス、コンビニ・スーパーで過ごすのは女子が男子より多いことが分かります。

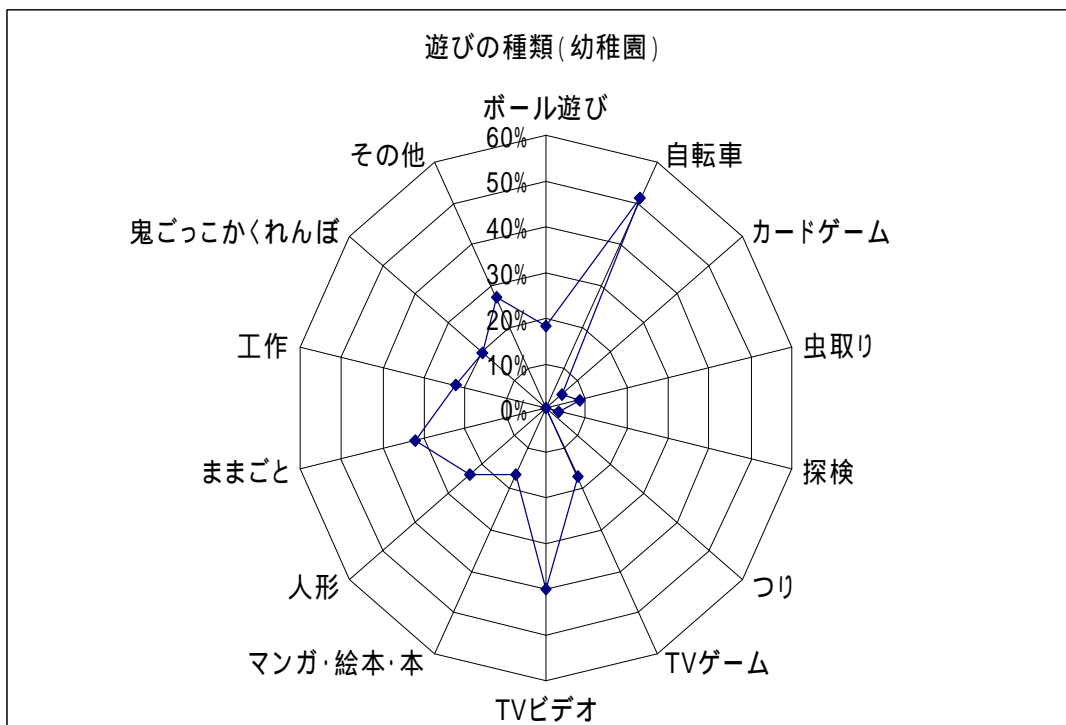
【遊びの種類】

『何をして遊ぶことが多いですか（複数選択3つまで）』

【保育所・園】(グラフ9)



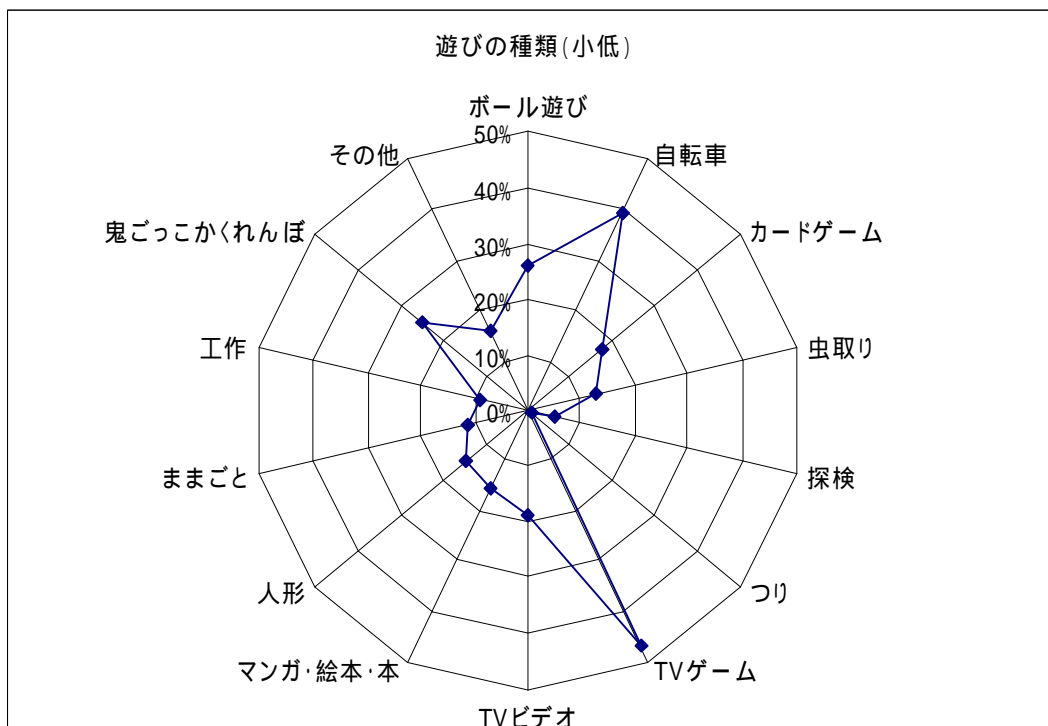
【幼稚園】(グラフ10)



\* テレビやビデオ（DVD）を見て過ごす子どもが幼稚園に通う幼児では40%、保育所・園に通う幼児では50%近くいます。

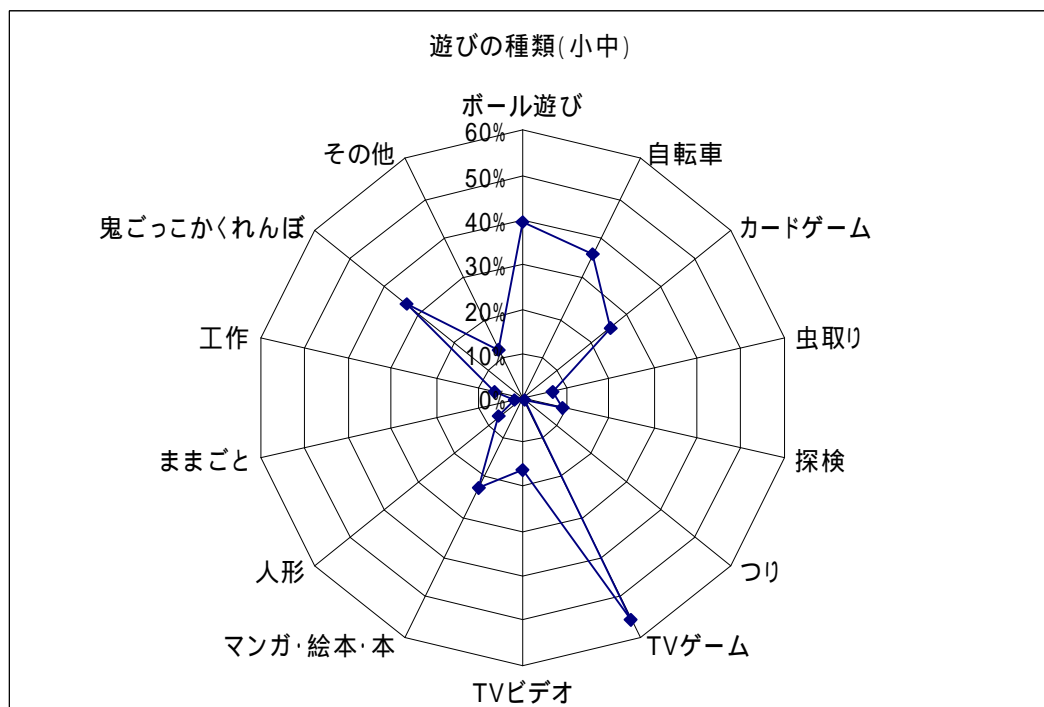


【小学校低学年】( グラフ 1 1 )



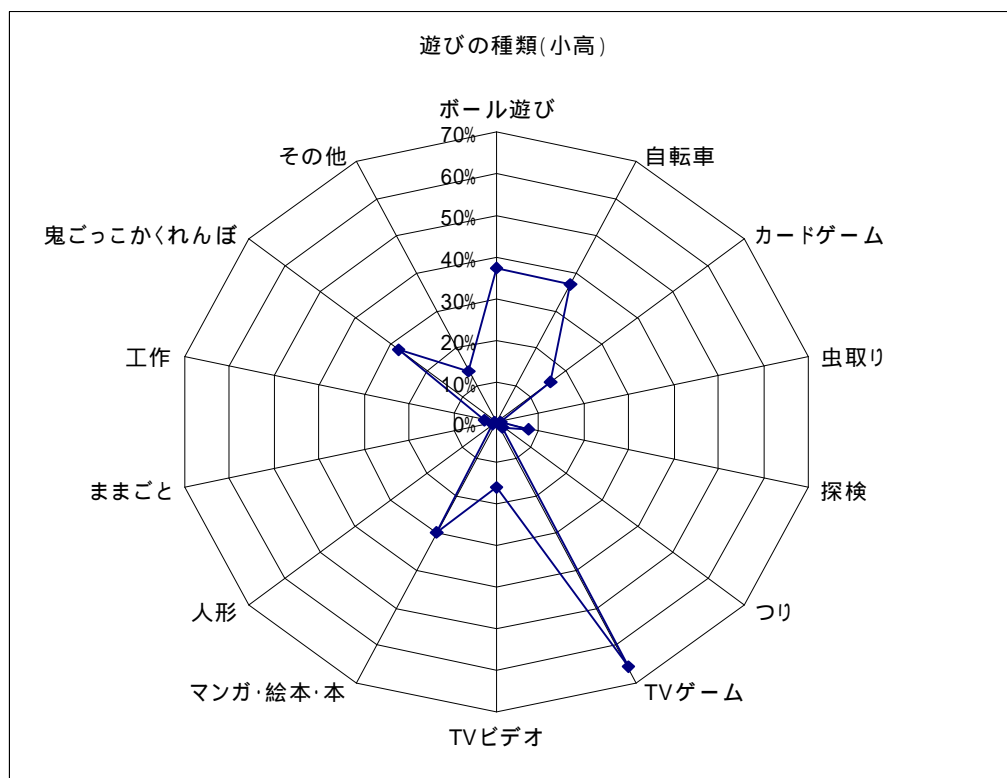
\* 幼児時代は 10% ~ 20% だった TV ゲーム・携帯ゲームでの遊びが 50% に近づいています。

【小学校中学年】( グラフ 1 2 )



\* 小学校低学年で 50% だった TV・携帯ゲームでの遊びの割合が 60% に近づいています。

【小学校高学年】(グラフ13)



\* 小学校中学年で60%台だったTV・携帯ゲームでの遊びが70%に近づいています。

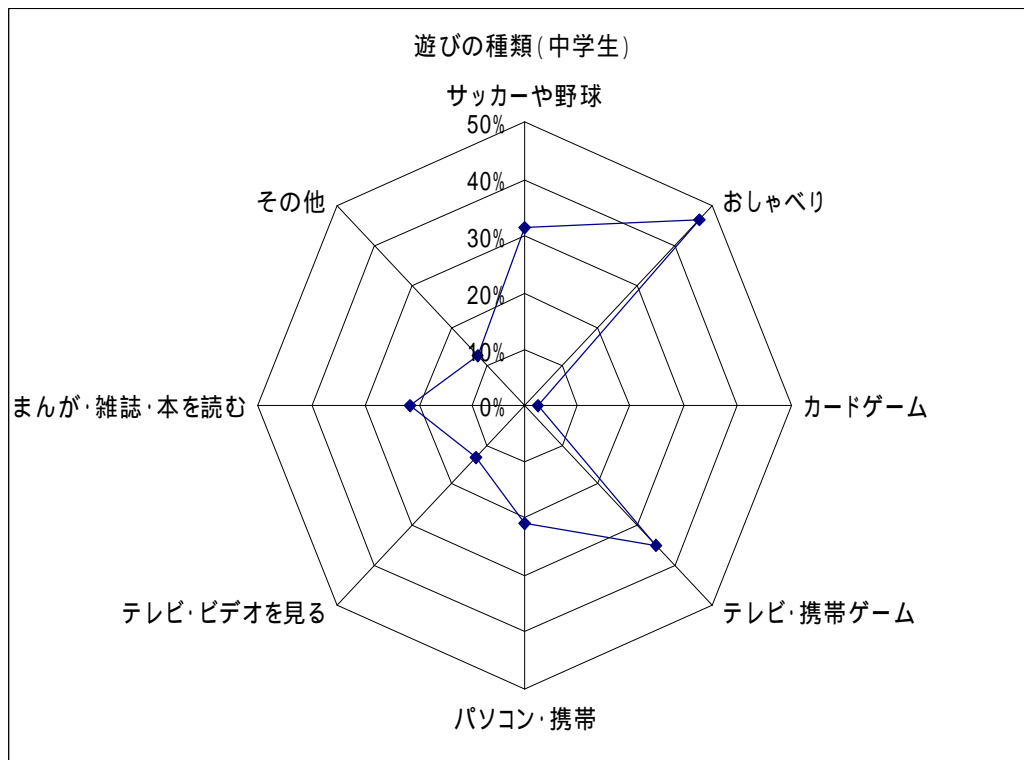
単位:(人)

	保育所・園 (434人中)	幼稚園 (559人中)	小学校 低学年 (333人中)	小学校 中学年 (346人中)	小学校 高学年 (396人中)
ボール遊び	93	101	87	136	154
自転車に乗る	166	285	132	124	148
カードゲーム	39	25	58	86	60
虫取り	54	46	43	23	4
探検	20	17	16	32	27
釣り	0	1	3	2	7
テレビ・携帯ゲーム	103	94	156	191	260
テレビやビデオを見る	203	222	62	55	63
マンガ・本・絵本を読む	123	91	51	78	117
人形で遊ぶ	99	129	47	23	3
ままごとをする	122	178	38	6	1
工作をする	50	121	30	22	10
かくれんぼ・鬼ごっこをする	41	107	83	115	109
その他	101	152	52	42	54

【中学生】

『何をして遊ぶことが多いですか』（複数選択2つまで）

（グラフ14）

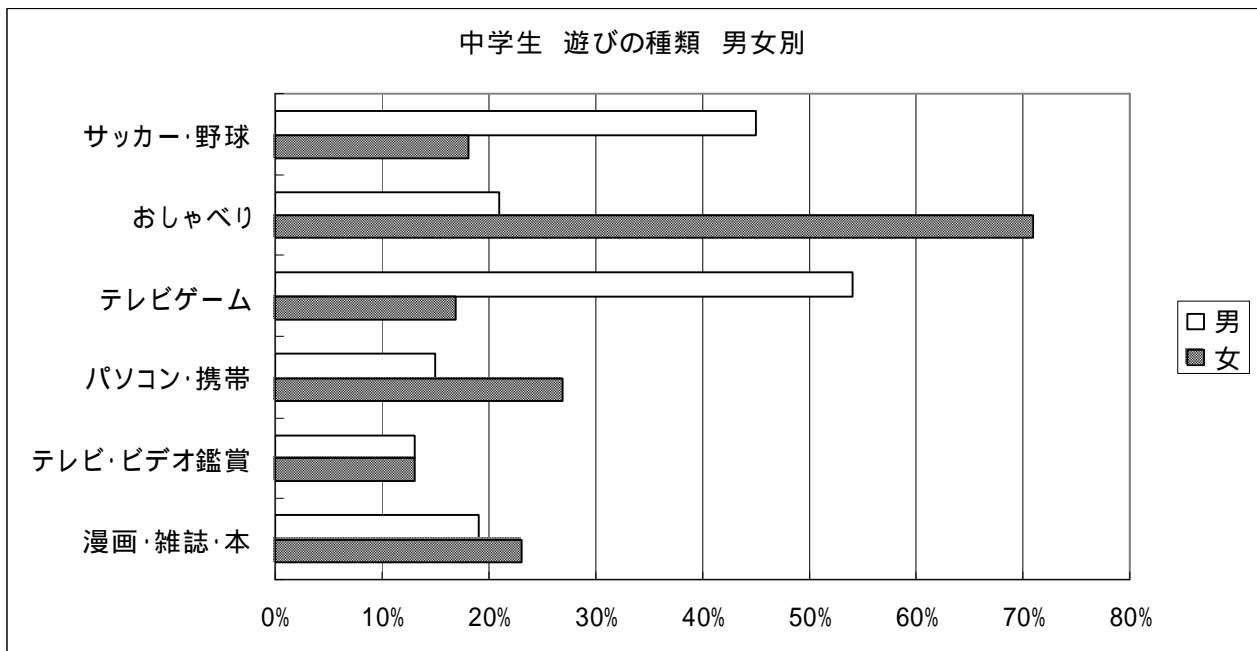


単位：(人)

	男(172人中)	女(179人中)	合計(352人中)
サッカー・野球など	77	33	110
おしゃべり	36	127	163
テレビ・携帯・PCゲーム	93	30	123
パソコン・携帯	25	48	73
テレビ・ビデオ鑑賞	22	24	46
漫画・雑誌・本	33	42	75

\* TV・携帯ゲームの割合は減っています。遊びの種類が小学生までとは変わっています。

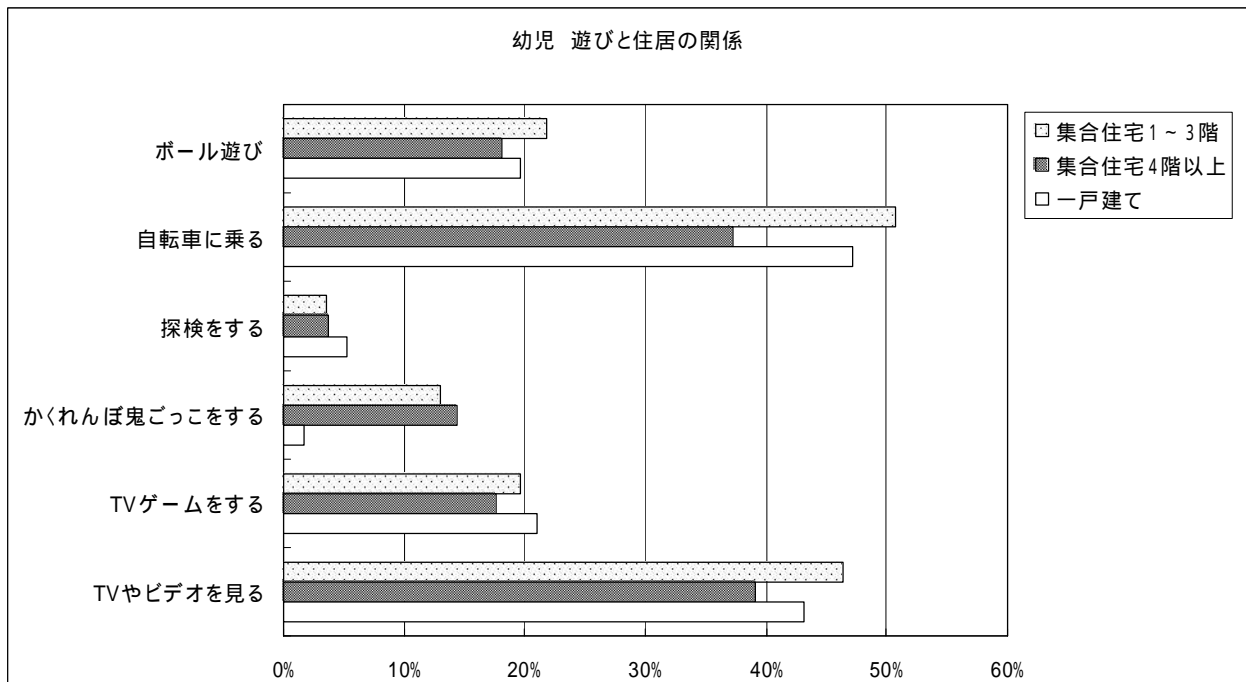
【中学生（男女別）】（グラフ15）（複数回答2つ）



\*男女差があることが分かります。運動やテレビ・携帯ゲームでは男子が、おしゃべりや携帯（メールなど）では女子の方が多くなっています。

【遊びと住居の関係】

【幼児】(グラフ16)『何をして遊ぶことが多いかと住居形体との関係』



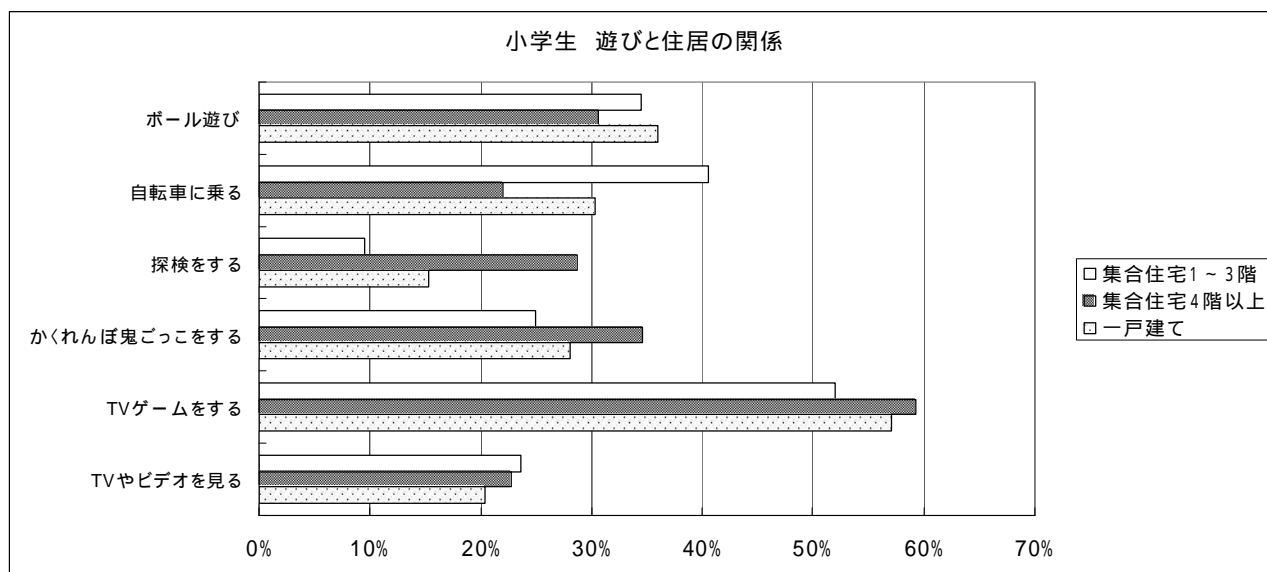
単位:(人)

	ボール遊び	自転車に乗る	探検をする	かくれんぼ鬼ごっこをする	TVゲームをする
集合住宅1~3階 (138人中)	30	70	5	18	37
集合住宅4階以上 (215人中)	39	79	7	31	57
一戸建て (629人中)	124	297	33	111	199
合計	193	446	45	160	293

\* 集合住宅の高層階に住んでいる子どもの方は、外遊びが少ないのではないかとこの予測から出た設問です。「自転車に乗る」や「ボール遊びをする」は集合住宅4階以上に居住している子が他に比べて少なくなっています。しかし、かくれんぼや鬼ごっこをする子は、一戸建てや集合住宅1~3階に住む子よりも高くなっています。そして、TVやビデオを見るやTVゲームをするは、集合住宅4階以上に住む子が一番少なくなっています。

【小学生】(グラフ17)

『何をして遊ぶことが多いかと住居形体との関係』(複数回答3つまで)



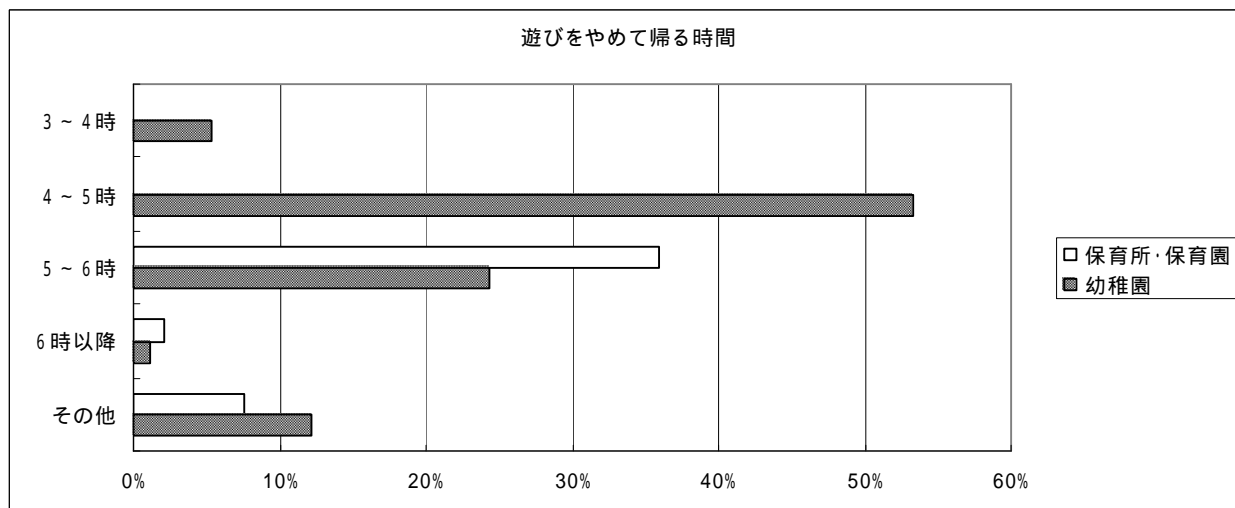
単位:(人)

	ボール遊び	自転車に乗る	探検をする	かくれんぼ鬼ごっこをする	TVゲームをする	TVやビデオを見る
集合住宅1～3階 (148人中)	51	60	14	37	77	35
集合住宅4階以上 (150人中)	46	33	43	52	89	34
一戸建て (766人中)	276	766	117	215	437	156
合計	373	859	174	304	603	225

\* 幼児と同様「自転車に乗る」や「ボール遊びをする」は集合住宅4階以上に居住している子が他に比べて少なくなっています。しかし、その他においてはあまり違いが見られません。10階以上の高層マンションに限定して比較するなどした場合には、別の結果が見られる可能性もあります。

【幼児】(グラフ18)

『遊びをやめて家に帰るのは何時ごろですか』



単位:(人)

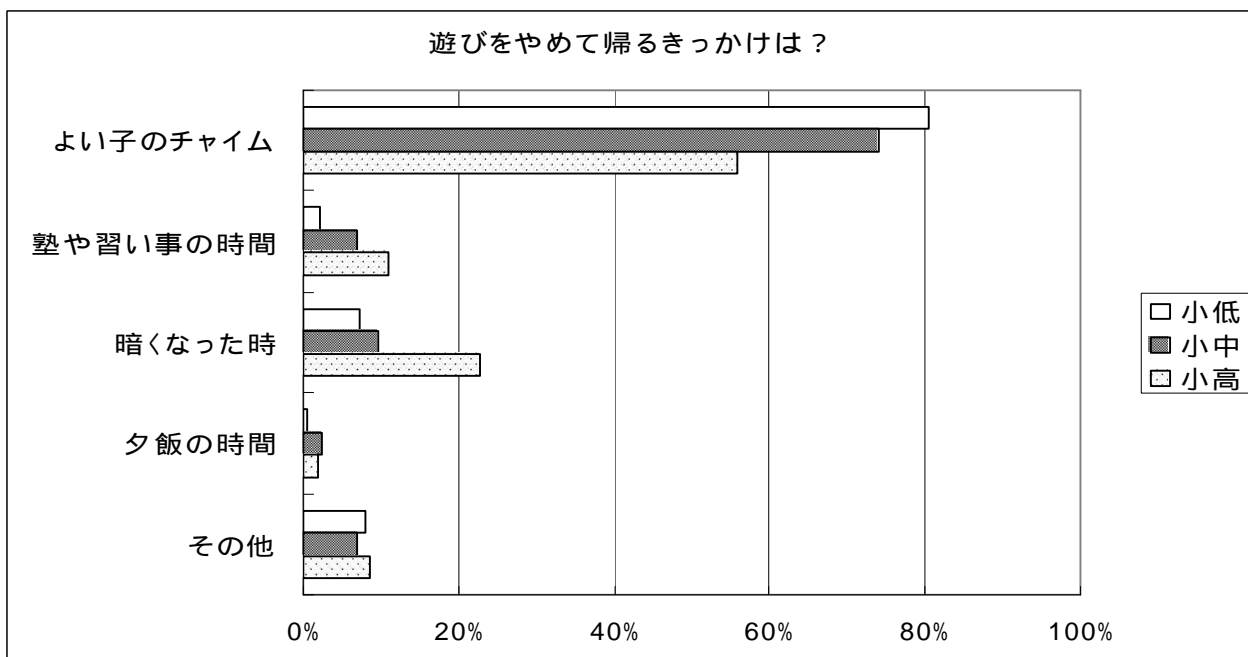
	保育所・園	幼稚園
3~4時	(選択肢なし)	30
4~5時	0	298
5~6時	156	136
6~7時	34	7
7~8時	5	(選択肢なし)
8時以降	4	(選択肢なし)
その他	33	68
遊びに出かけない	195	(選択肢なし)
無回答	7	21
合計	436	559

\* 保育所・園に通う子どもでは、帰宅時間の関係で普段は遊びに出かけない子が多くいました。幼稚園に通う子どもには、「遊びにでかけない」という選択肢がなかったのですが、「その他」の中に、(特に年少児で)園から帰ったあとは、「危ないので」「遊び相手がいないので」遊びに行かないという回答がありました。

(保育所・園対象では「3~4時」という選択肢がなく、幼稚園対象では「7時以降」「遊びに出かけない」という選択肢がなかった。)

【小学生】(グラフ19)

『遊びをやめて家に帰るきっかけは何ですか』



単位：(人)

	小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	合計
よい子のチャイム	268	256	221	745
塾や習い事の時間	7	24	43	74
暗くなった時	24	33	90	147
夕飯の時間	2	8	7	17
その他	27	24	34	85
無回答	5	1	1	7
合計	333	346	396	1075

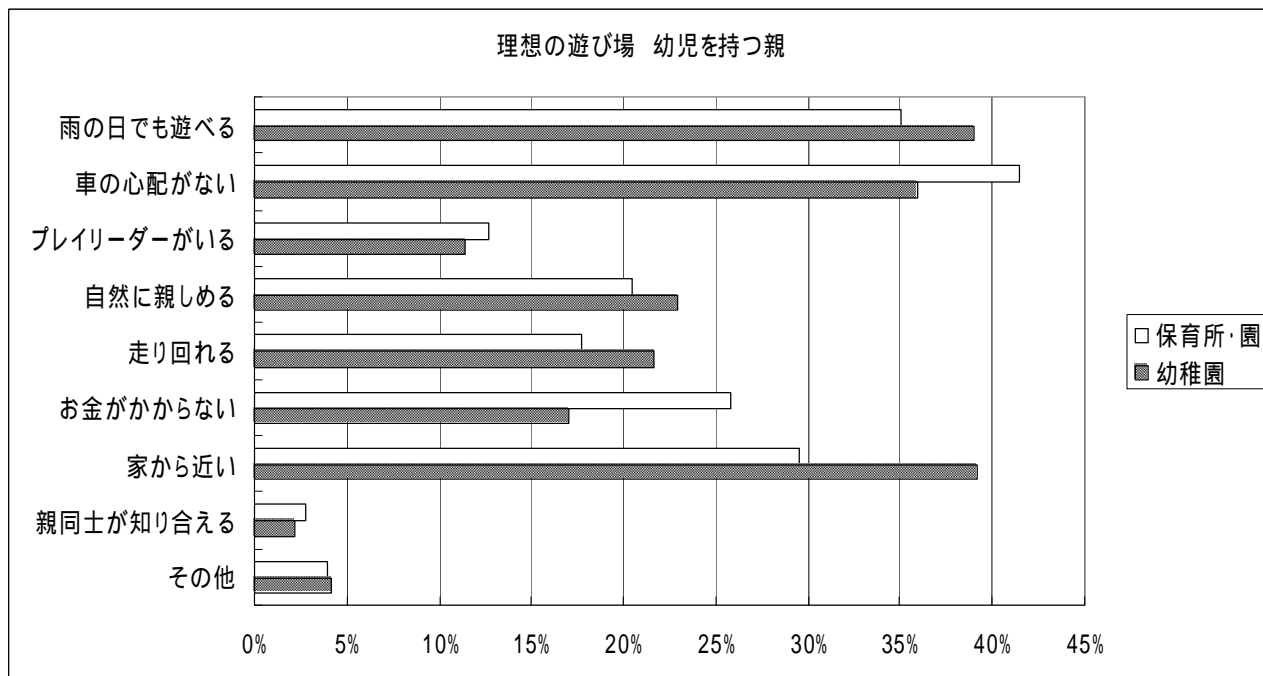
\* 小学生では、市が放送している「よい子のチャイム」をきっかけに帰宅する子が圧倒的でした。しかし、学年が上がるにつれ、それが減り、「暗くなったら」「塾や習い事の時間」をきっかけに帰宅する子が増えていることがわかります。その他の記述には、「友だちが帰るとき」という回答も比較的多く見受けられました。また「お母さんと約束した時間」というものもありました。



【あったらいいと思う遊び場】

【幼児を持つ保護者】(グラフ20)

『あったらいいな、と思う遊び場』(複数選択3つまで)



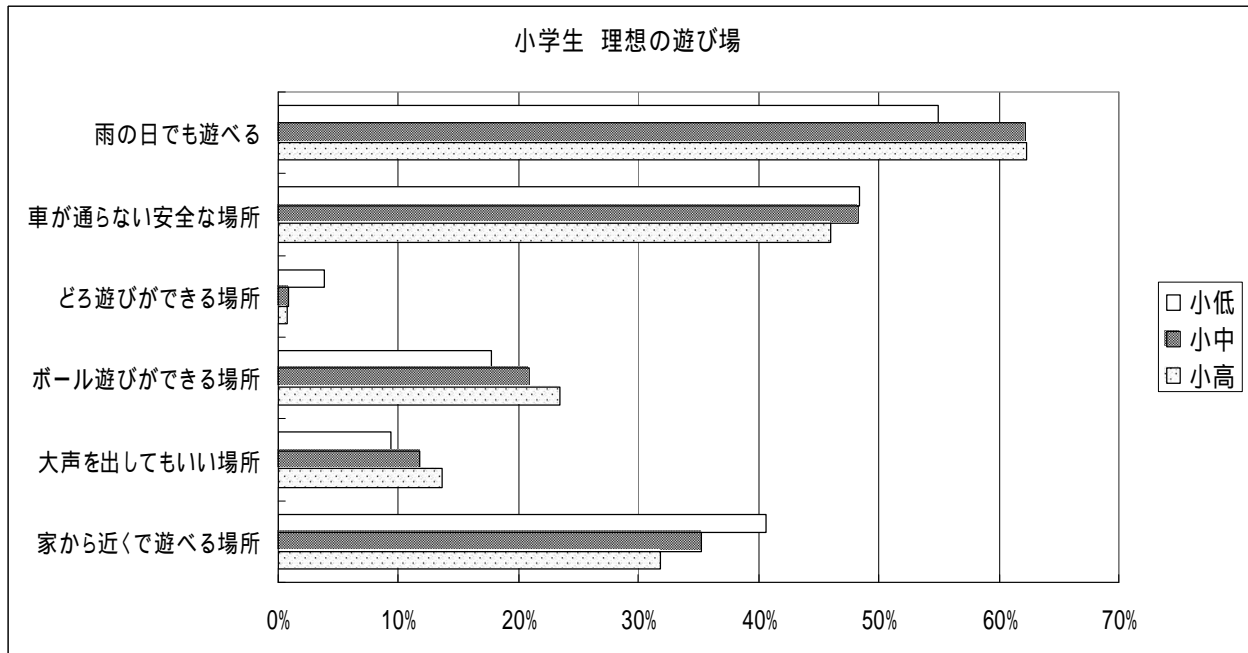
単位:(人)

	保育所・園 (434人中)	幼稚園 (559人中)	合計 (993人中)
雨の日でも遊べる	152	218	367
車の心配がない	180	201	381
プレイリーダーがいる	55	64	119
自然に親しめる	89	128	217
走り回れる	77	121	198
お金がかからない	112	95	207
家から近い	128	219	347
親同士が知り合える	12	12	24
その他	17	23	40

\* 雨の日でも遊べて、車の心配がなく家から近い遊び場が求められているのが分かります。子どもの遊びを通して、親同士のつながりを求めている人はあまりいませんでした。

【小学生】(グラフ21)

『あったらいいな、と思う遊び場』(複数選択3つまで)



単位:(人)

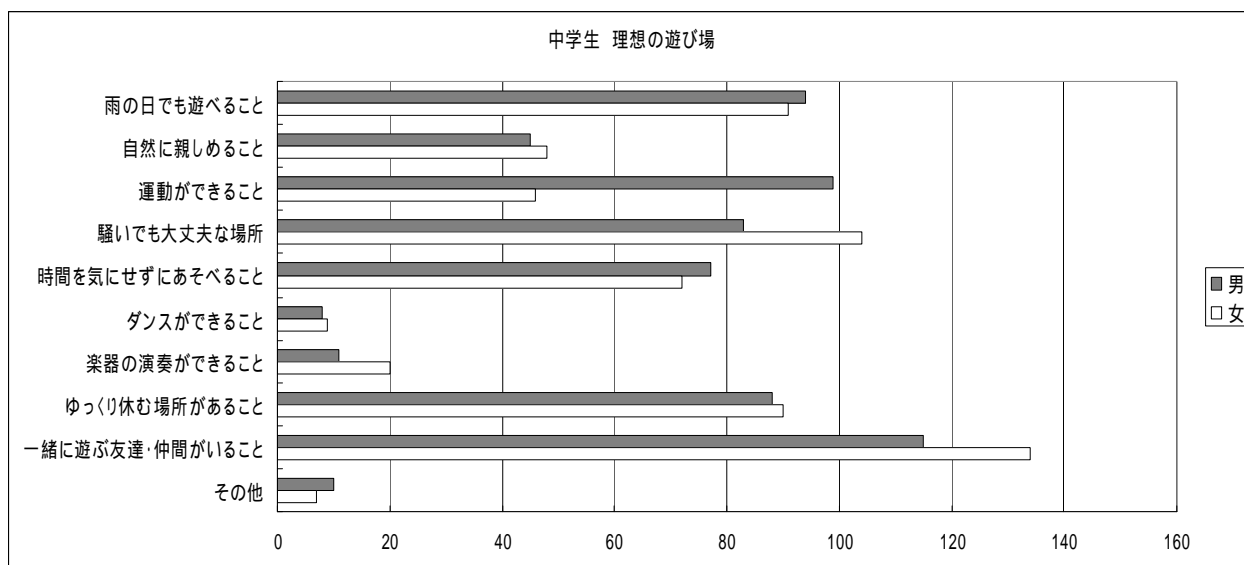
	小学校低学年 (333人中)	小学校中学年 (346人中)	小学校高学年 (396人中)	合計 (1075人中)
雨の日でも遊べる	183	215	247	645
車が通らない安全な場所	161	167	182	510
どろ遊びができる場所	13	3	3	19
ボール遊びができる場所	59	72	93	224
大声を出してもいい場所	31	41	54	126
家から近くで遊べる場所	135	122	126	383
その他	8	20	24	52

\* 幼児を持つ親と同様、小学生にとっても、雨の日でも遊べて、車の心配がなく家から近い遊び場が求められています。また、「ボール遊びができる場所」というのは、学年が上がるごとに増えており、反対に「家から近い」ことについては、学年が進むにつれ、減っています。

「小学生があつたらいいと思う遊び場」その他の記述より(一部抜粋)  
 家から近くで静かに読書やお話ができるところ・大声を出してよくてテレビがあつて屋根のあるところ・怒られないところ・子どもだけの国・子どもたちだけの遊び場・持ち主なしの山・森がきれいで魚がいっぱいいつりができる場所・サッカーをしてガラスを割つてもいい場所・知っている顔がいて安全な場所・いっぱい走れる場所・探検ができるような森・子どもだけの家

【中学生】(グラフ22)

『あったらいいな、と思う遊び場』(複数選択3つまで)



単位:(人)

	男 (172人中)	女 (179人中)	合計 (352人中)
雨の日でも遊べること	94	91	185
自然に親しめること	45	48	93
運動ができること	99	46	145
騒いでも大丈夫な場所	83	104	187
時間を気にせずにあそべること	77	72	149
ダンスができること	8	9	17
楽器の演奏ができること	11	20	31
ゆっくり休む場所があること	88	90	178
一緒に遊ぶ友達・仲間がいること	115	134	249
その他	10	7	17

\* 「一緒に遊ぶ友達や仲間がいる」「雨の日でも大丈夫で運動ができる」「騒いでも大丈夫」「ゆっくり休める」これが中学生の求める居場所のようです。  
 「運動ができる」「時間を気にしなくてよい」は、女子よりも男子が多く、「騒いでもいい」「一緒にいる友達・仲間がいる」は女子が多くなっています。

【部活（中学生のみ）】

『部活動に参加していますか』（1，2年生259人中）

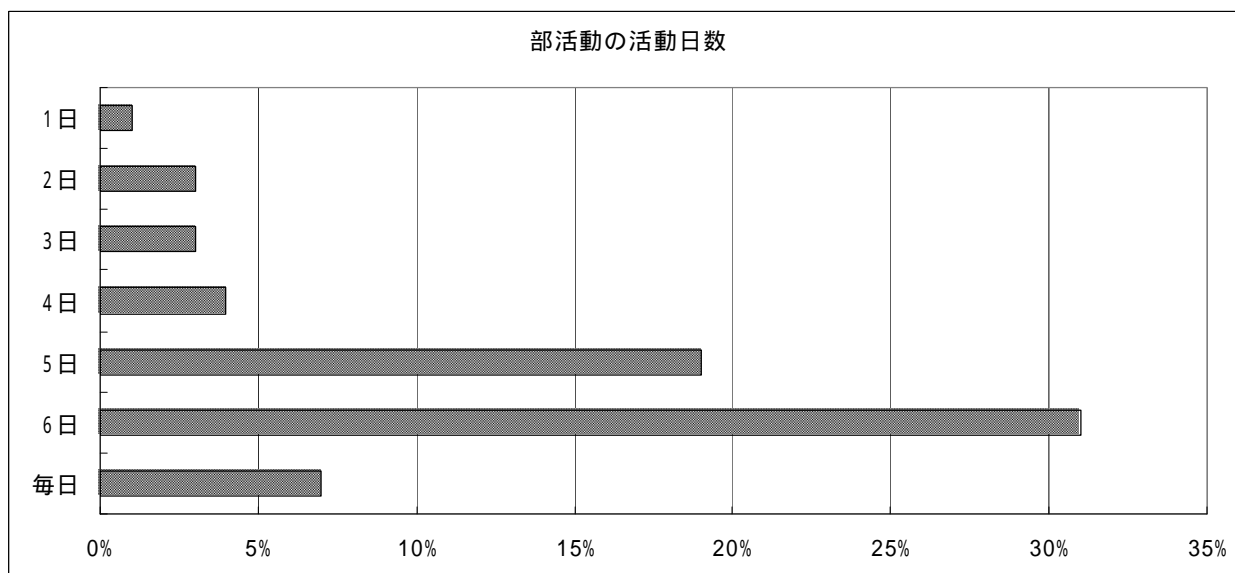
単位：(人)

部活動	1年生	2年生	合計
している	150	92	242
していない	7	6	13
無回答	5		4
合計	162	98	259

\* 部活動を引退した3年生を除く1，2年の生徒のほとんどが部活動に参加していることがわかります。

【部活の活動回数】(グラフ23)

『一週間に何日部活動をしていますか』

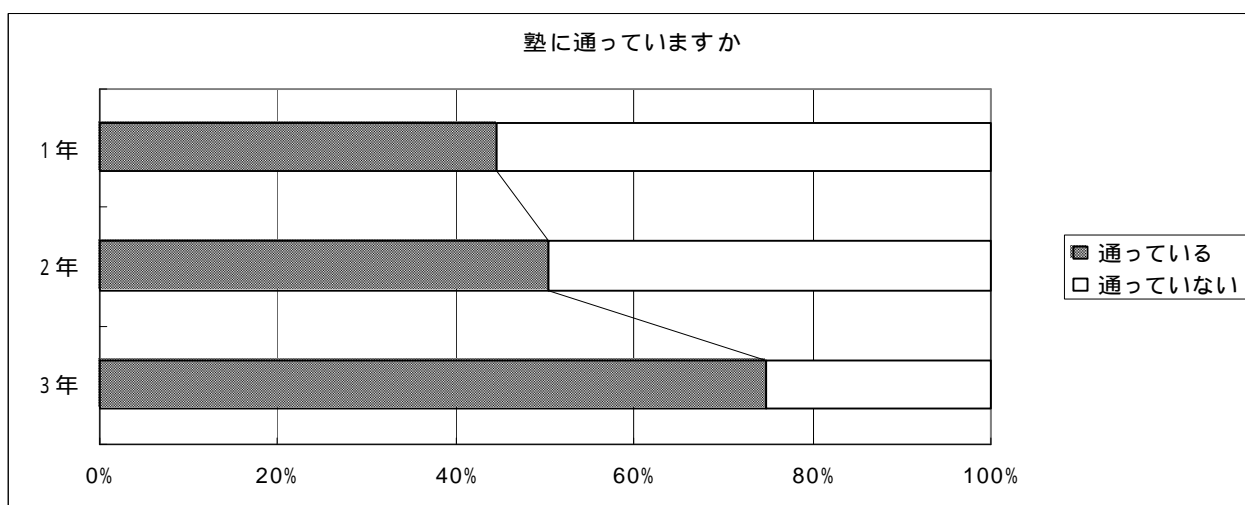


単位：(人)

	1年生	2年生	合計
1日	1	1	2
2日	8	2	10
3日	6	3	9
4日	8	5	13
5日	44	22	66
6日	69	40	109
毎日	6	17	23
無回答	20	8	28
合計	162	98	259

【塾（中学生のみ）】（グラフ24）

『塾に通っていますか』



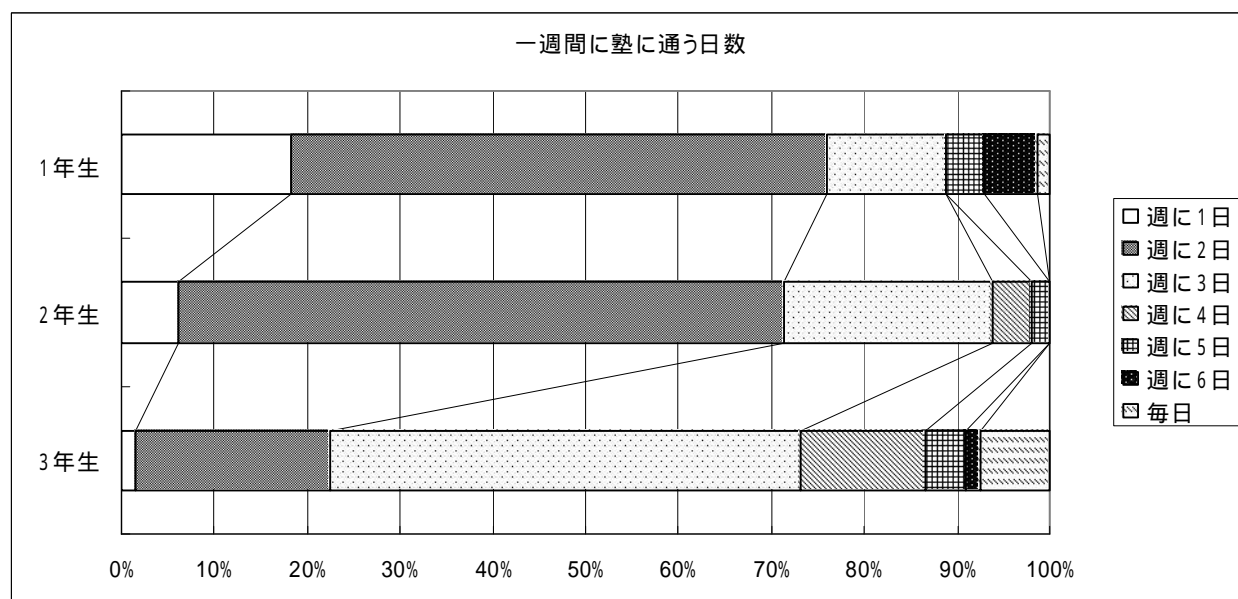
単位：(人)

	1年生	2年生	3年生	合計
通っている	71	49	68	188
通っていない	88	48	23	159
無回答	3	1	2	5
合計	162	98	92	352

\* 3年生になると、塾に通っている生徒の割合がぐっと増えているのがわかります。

【塾の日数】(グラフ25)

『一週間に何日塾に通っていますか』



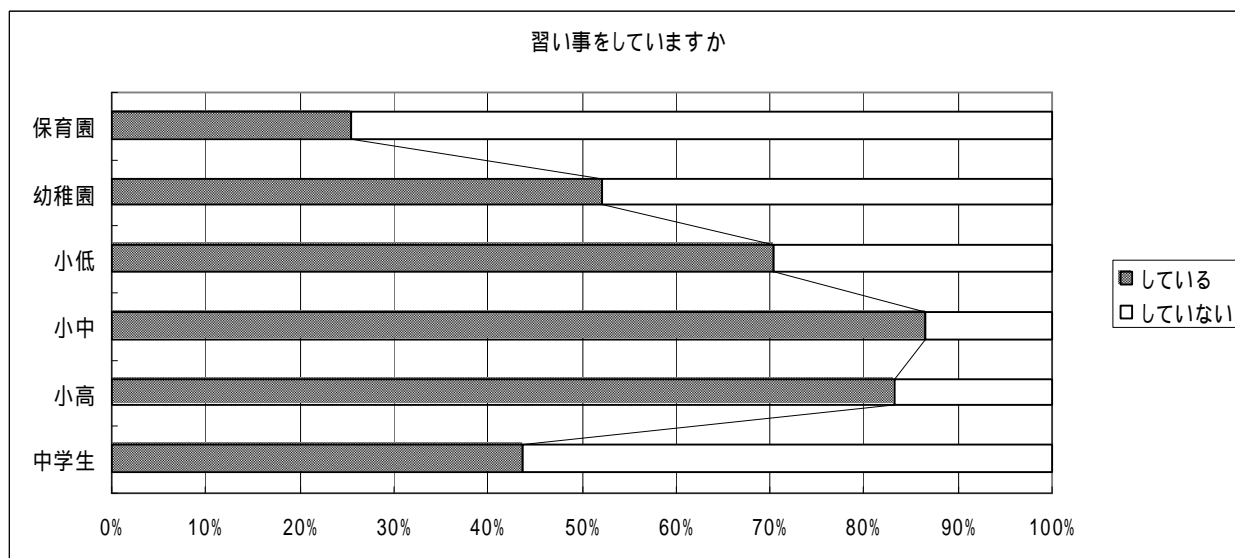
単位:(人)

	1年生	2年生	3年生	合計
週に1日	13	3	1	17
週に2日	41	32	14	87
週に3日	9	11	34	54
週に4日	0	2	9	11
週に5日	3	1	3	7
週に6日	4	0	1	5
毎日	1	0	5	6

\* 1. 2年生では、週に1～2日が多いのですが、3年生になると、週に3日が多くなります。

【習い事】(グラフ26)

『習い事をしていますか?』



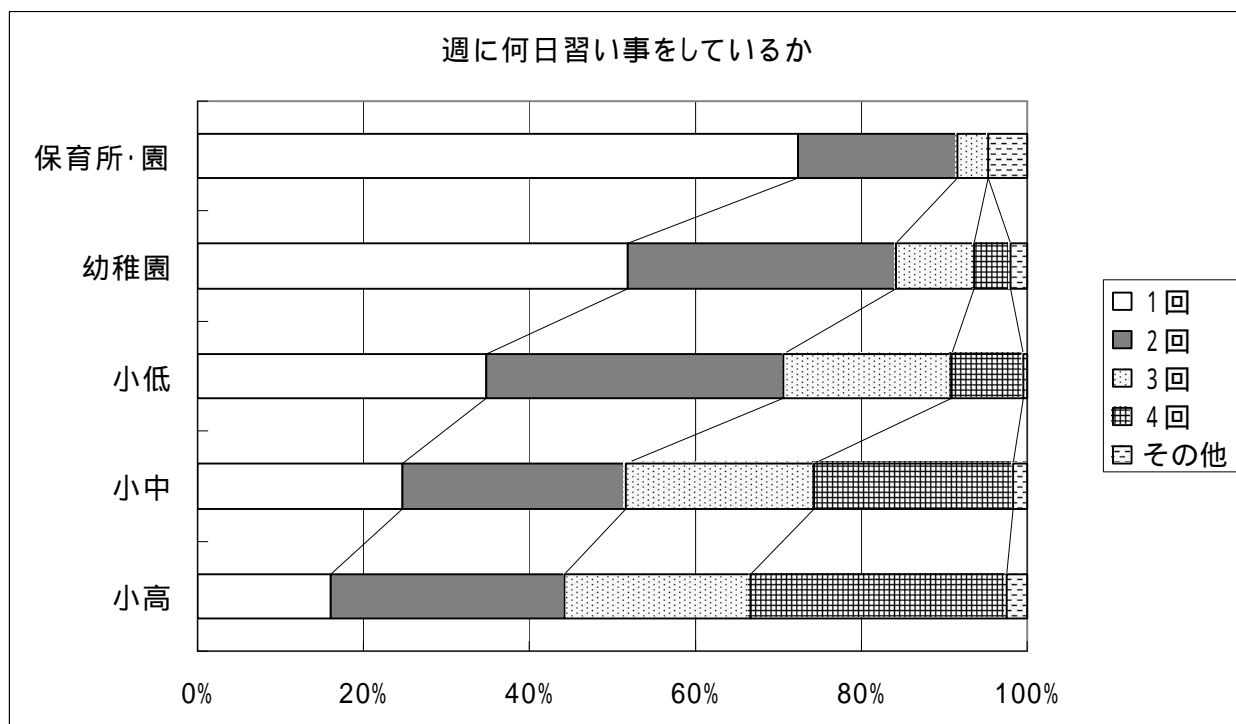
単位:(人)

	保育所・園	幼稚園	小低	小中	小高	中学生
している	110	291	233	297	327	151
していない	322	267	98	46	66	194
無回答	2	1	2	3	3	7
合計	434	559	333	346	396	352

\* 習い事をしている子は小学校に入って増え、小学校中学年で80%を超えますが、中学生になると下がります。(但し、小学生への設問では「学習塾」が習い事の選択肢の中に入っていますが、中学生への設問では「学習塾」は習い事と分けて質問しています)

【習い事の回数】(グラフ27)

『週に何回習い事をしていますか』(幼児から小学生まで)



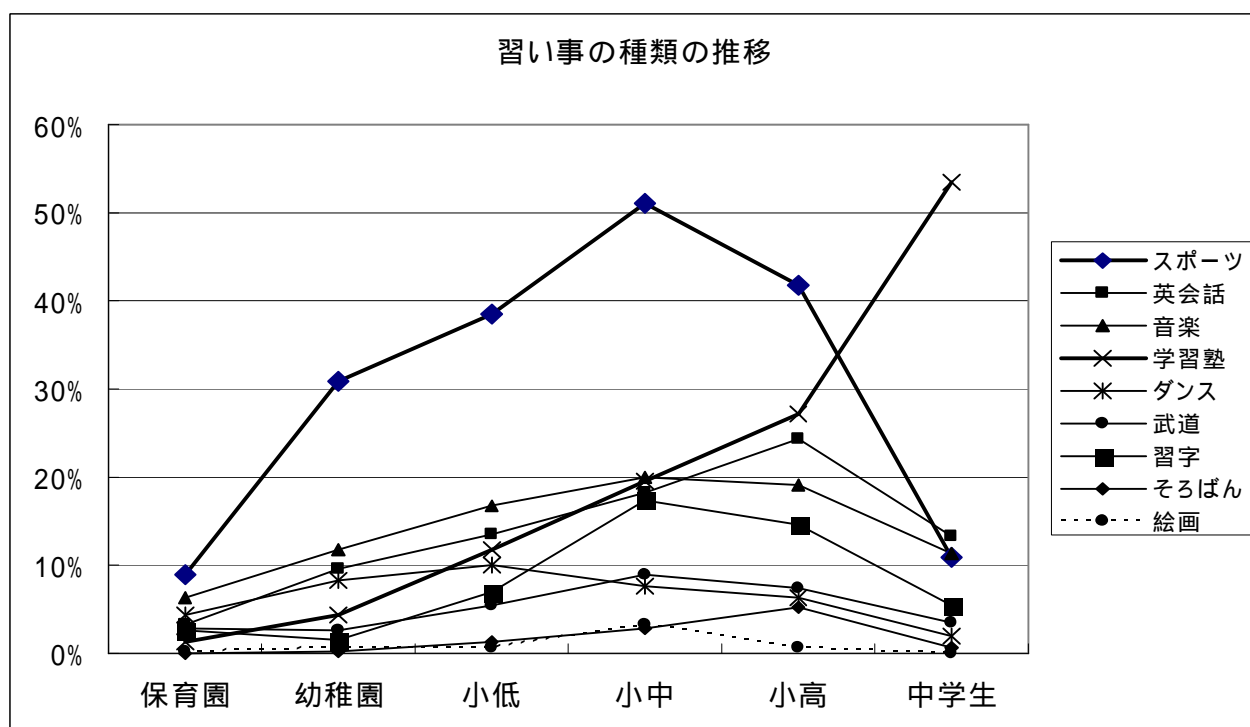
単位:(人)

	保育所・園 (110人中)	幼稚園 (291人中)	小学校低学年 (233人中)	小学校中学年 (297人中)	小学校高学年 (327人中)
1回	78	151	81	73	53
2回	21	94	83	80	92
3回	4	27	47	67	74
4回	0	13	20	71	101
その他	5	6	1	5	8

\* 学年が進むにつれ、習い事に通う日数(1週間のうち)が増えています。



【習い事の種類の変遷（複数回答）】（グラフ28）



単位：(人)

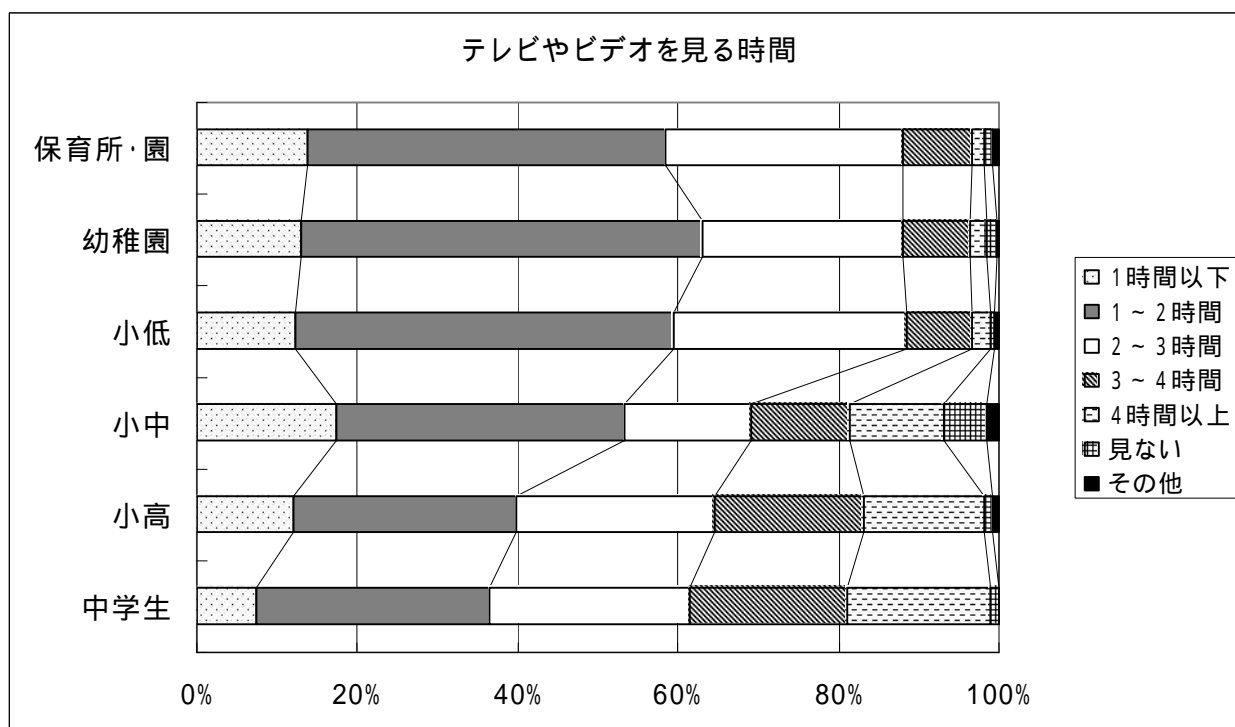
	保育所・園 (434人中)	幼稚園 (559人中)	小学校 低学年 (333人中)	小学校 中学年 (346人中)	小学校 高学年 (396人中)	中学生 (352人中)
スポーツ	39	172	128	177	165	38
英会話	14	54	45	63	96	47
音楽	27	66	56	69	76	40
学習塾	6	24	39	68	108	188
ダンス	19	46	33	26	25	7
武道	12	15	18	31	29	12
習字	11	9	23	60	58	19
そろばん	0	1	4	10	21	2
絵画	1	4	2	11	3	0
その他	4	4	5	25	1	13

\* 小学校までは、「スポーツ」が圧倒的に多いのですが、学年が上がるにつれ、「学習塾」と「英語」が増え、中学生になると逆転しています。

その他の習い事として、小学校で目立ったのは、スポーツチャンバラ、太鼓、工作などでした。中学生では、家庭教師、ジュニアリーダー、ボーイスカウトなどでした。

【テレビやビデオ（DVD）を見る時間】（グラフ29）

『何時間テレビやビデオ（DVD）を見ますか』



単位：(人)

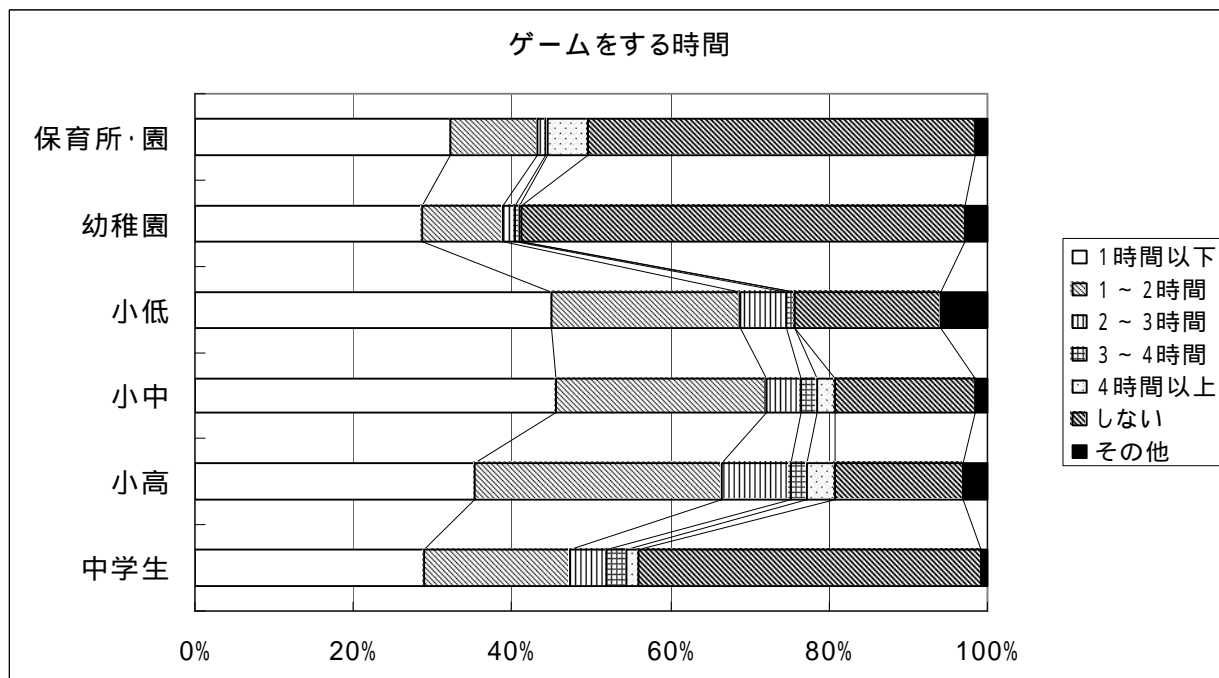
	保育所・園	幼稚園	小学校 低学年	小学校 中学年	小学校 高学年	中学生
1時間以下	59	71	40	60	47	26
1～2時間	193	276	153	123	108	101
2～3時間	127	137	95	55	97	88
3～4時間	38	46	26	42	72	68
4時間以上	6	12	8	40	59	62
見ない	5	6	1	19	4	4
その他	3	2	2	5	3	0
無回答	3	9	8	2	6	3
合計	434	559	333	346	396	352

\* 1～3時間までは幼児が多く、3時間以上となると、高学年の方が多くなっています。

【ゲームをする時間】

【テレビ・携帯・パソコンゲームで遊ぶ子どもの推移】(グラフ30)

『何時間ゲームをしますか』



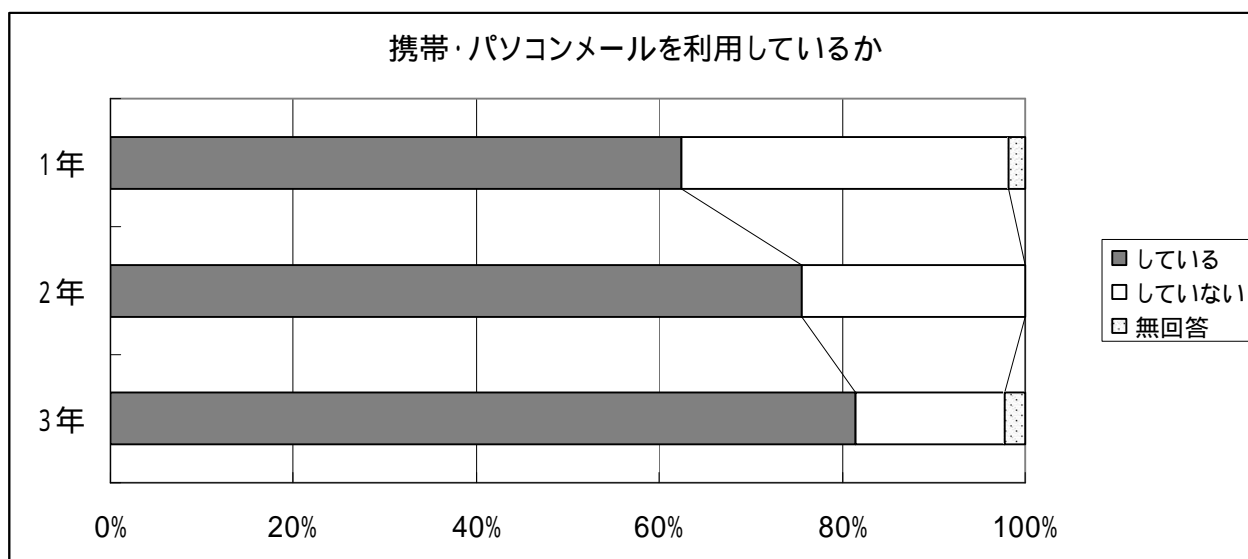
単位:(人)

	保育所・園	幼稚園	小学校 低学年	小学校 中学年	小学校 高学年	中学生
1時間以下	136	157	148	157	138	99
1~2時間	46	56	78	92	123	64
2~3時間	4	9	19	15	34	16
3~4時間	1	2	3	7	8	8
4時間以上	22	2	0	8	14	6
しない	206	307	61	61	63	148
その他	6	16	19	5	12	3
無回答	13	10	5	1	4	8
合計	434	559	333	346	396	352

\* 幼児は「ゲームをしない」が多く、小学生になると「ゲームをしない」が減り、「ゲームをする」が過半数を超えます。その後、学年と共に増えていきます。しかし、中学生になると、再び「ゲームをしない」が増えます。長時間ゲームをするのは小学校中・高学年で多くなっています。

【携帯・パソコンメールの利用（中学生のみ）】（グラフ31）

『携帯・パソコンメールを利用していますか』



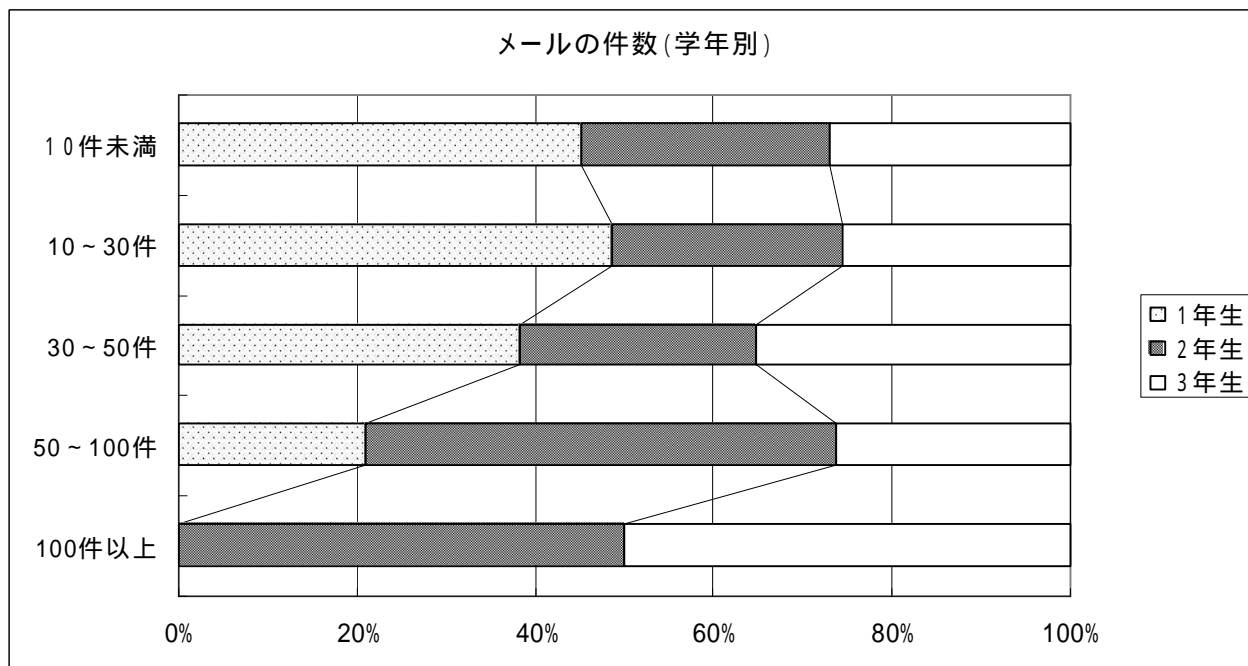
単位：(人)

	1年生	2年生	3年生
している	101	74	75
していない	58	24	15
無回答	3	0	2
合計	162	98	92

\* 学年が上がるにつれ、メールの利用が増えているのがわかります。

【携帯・PCメールの利用・学年別】(グラフ32)

『一日に何件メールを送信しますか』

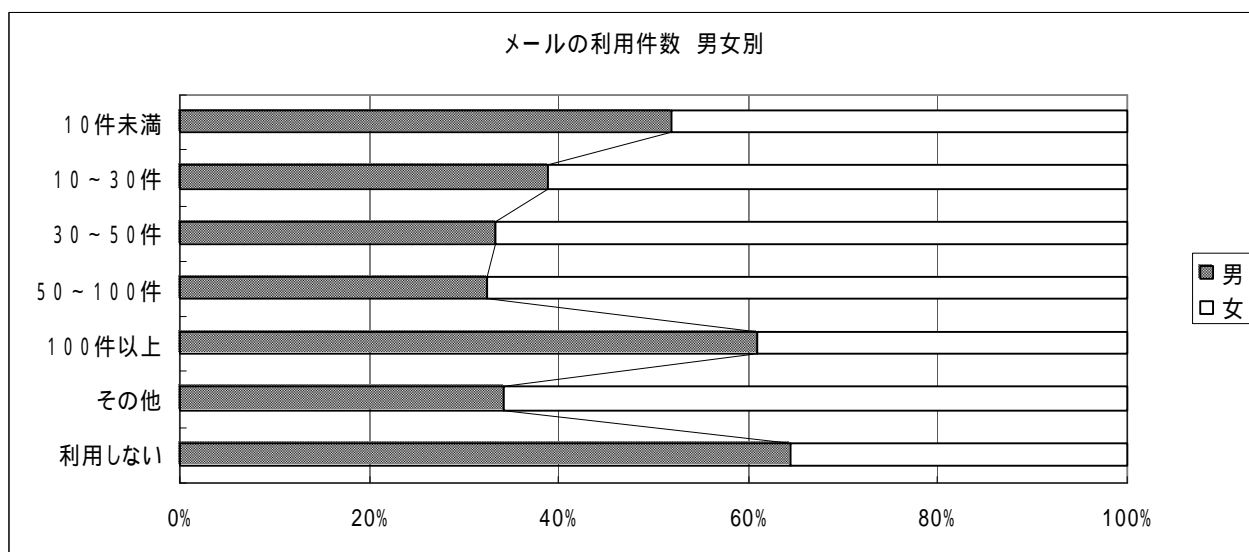


単位:(人)

	1年生	2年生	3年生
10件未満	47	29	28
10~30件	36	19	19
30~50件	13	9	12
50~100件	4	10	5
100件以上	0	5	5

\* 学年が上がるにつれ、メールの利用件数が増えていくことが分かります。

【携帯・PCメールの利用件数・男女別】(グラフ33)



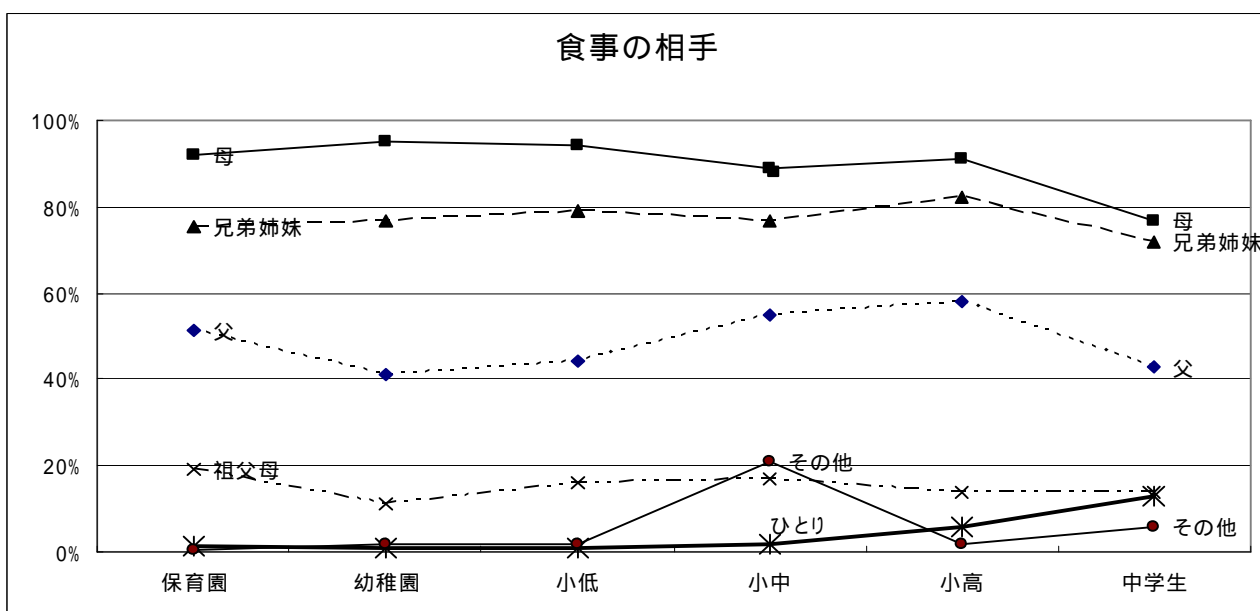
単位:(人)

	男	女
10件未満	53	51
10~30件	28	46
30~50件	11	23
50~100件	6	13
100件以上	6	4
その他	2	4
利用しない	66	38
合計	172	179

\* 「100件以上利用する」を除いて、女子の方が男子よりメールを利用している様子が分かります。「利用しない」は女子より男子が多いことが分かります。

【夕食をいっしょに食べる人】(グラフ34)

『夕食を一緒に食べるのはだれですか』(複数回答)



\* 夕食を一緒に食べるのは圧倒的に母親が多くなっています。しかし、幼児でも4割台、小学校高学年においては6割近い父親が子どもと夕食を食べています。

単位:(人)

	保育所・園 (434人中)	幼稚園 (559人中)	小学校 低学年 (333人中)	小学校 中学年 (346人中)	小学校 高学年 (396人中)	中学生 (352人中)
父	222	230	145	192	228	151
母	399	533	312	309	358	271
兄弟姉妹	327	433	264	268	323	255
祖父母	84	64	54	59	55	49
ひとり	6	6	2	21	24	46
その他	1	9	7	21	9	22

## 6 . 自由意見 - 全文 -

### 「車の安全・不審者などからの安全な遊び場の必要性」

- ・ Q13でも をつけましたが、車や誘拐の心配がない、子供だけで遊べる場所が欲しいです。今は物騒なので、家から出たら親がついていないと心配です。でも親も何とか忙しいので、ずっとついていられないし、親がいない子どもだけの方が、のびのびと遊べるようです。学校を開放して警備員を置く、同じく公園にも監視員を置く、などしてもらえると大変ありがたいです。
- ・ 安心して子供達を遊ばせる場所がない。我家では、子供達が家の前で遊ぶ時でも目を話したことは一度もありません。子供達がのびのびと遊べる場所を造って欲しいと思います。
- ・ 安心、安全な外遊びのできる場所があればもっと自然を楽しみながら体を動かせる事ができるのになぁと思います。遊ぶ仲間と場所の確保はむずかしいのが現状です。
- ・ 安心して遊べる場所が少ない。働いている時間幼稚園以外で格安にあずけられる施設が欲しい。作られた物で遊ぶのではなく、自分で遊ぶ物を作って遊ぶ事をして欲しい。
- ・ 安心して友達と遊べる場所があるのだろうか？ 親なしでいつになったら遊びに行けるのだろうか？ 現在の子供の状況を知りたいと思います。
- ・ 安全、安心して遊べる場所がありません。公園にしても、ゴミ、犬のフンなどの不始末が多過ぎます。全天候型の施設を地区ごとに作って欲しいです。
- ・ 安全に過ごせる所が本当にできることを願っています。高学年になりよこチャイムの後にしか家に着かないのはどうかと思う
- ・ 家のまわりで安全に遊べる場所がなく困っています。近くに(低学年でも行ける範囲での)公園(何も遊具のない広場のみでもOK!!)があれば、親としても安心です。
- ・ 今、犯罪などで、子供の遊ぶ場所が少なくなってきました。子供達が安心して遊べるような場所作りをお願いします。
- ・ 家の周りは交通量も多く、住宅街の中でもスピードを出している車が多いので、遊ばせていて心配。車の心配等のない(少しでも良いので)遊具があり、子どもが走り回れる公園が欲しい。
- ・ 子供が安心して遊べる環境があるとうれしいです。公園でも目をはなせないところがあるし、自然に楽しく遊べる場所があるといいです。
- ・ 子供が安全に遊べる公園が理想です。
- ・ 子供が安全にのびのび遊べる場所がどんどんなくなり、必然的にゲームなどの室内に入ってしまう現状がさみしいです。子供のための施設がもっとたくさんあれば良いです。
- ・ 今は子供達だけで安全に遊べる広場や公園がないので、自然があり、外で元気に遊べるような場所がほしいです。
- ・ このアンケートに基づいて子供達に安全でのびのび遊べる環境を作ってほしいです。
- ・ 最近犯罪が多いから、放課後子供達だけで遊ぶのがとても不安なので、地域全体での安全対策をもっと早くたくさん考えたい。少しでも被害を減らしたい
- ・ 本当は降園後も友達と外遊びをさせたいが、一緒に行くと(危ないので)家事が終わらなくなり、夜寝かせる時間がずれてしまうので、家の中での1人遊びになってしまう(1人っ子の為)。子供



には申し訳ないと思いながら過ごしています。（内職をしている為よけいに外遊びが出来ない面も有ります。）

- ・ まだ1年生なので、一人で遊びに行くことはありません。不審者や変質者の心配があるので、1人で気軽に公園へ行くこともやめさせています。
- ・ このご時世、物騒なことが多いので、親としてはなるべく安全を確保できる遊びスペースが欲しいです。親がいくら言ってもゲーム等で遊ぶ子が増えているので、できる限り外で遊んで欲しいですね。
- ・ 世の中で事件が多すぎて子供が（親も）安心させて遊べる場所がまったくない。そのため、家で遊ぶ事がほとんどで、子供の成長や体力面などに心配が多い。今の子供は何をして遊んでいいかわからなくなっている気がします。
- ・ 近くに（歩いて行けるところ）公園が無く子供を自由に遊ばせる場所が無いので、子供が外で遊ぶ時は事故等で心配。
- ・ 最近、公園や空き地に住宅が建ち、安心して子供が遊べる場所がすくなくなっています。公園が近くにあると、親としては安心して遊ばせられますが、子供が小さいと、一人では遠くまでは行かれないので、家の周りで遊ぶことが多くなります。
- ・ 最近の子供に関わる、不審者情報、事件の中、昔のように自由に子供達だけで、遊べる場所がないのが現状だと思います。家の中でのテレビ、ビデオ、ゲームばかりでなく体を使い、自然の中での遊びの楽しさを知ってもらいたいと思っています。

#### 「遊び場がない」「遊具の充実した遊び場を望む」

（一方で遊具などはあまり必要ないという意見もありました。）

- ・ 家の近くの公園には、遊具で遊べる所がないのでそういう場があったら良いです。
- ・ 家の近くに広い公園があるといいなと思います。
- ・ 空き地があればどんどん家が建ち、子供達には思い切りボールをける事も走り回る事もできるスペースがありません。「道路が遊び場」が現状の方々も多いのでは？遊具も何もいらんだたの「原っぱ」が欲しいです。「自由な遊び」ができる場所、必要ですよ。
- ・ 女の子なので、外で遊ばせる時、とても心配で途中までついて行ったりしばらく様子を見ていたりしています。夕方は忙しいので正直面倒です。安全に遊べる場所が確保されていると安心して送り出せます。ぜひこのアンケートを無駄にする事なく、生かしてほしいと思います。
- ・ 家の近くにある公園は遊具もなく、ボール遊びも禁止です。思いっきり遊ばせたいと思うと、自転車に乗って公園に行かなければなりません。上の子の用事等もあって、下の子はどうしても家の中になってしまう事が多いので、小さい子でも遊べる遊び場を沢山作って欲しいです。
- ・ 家のそばに遊べる公園がない。小さな公園があるが、乳児や園児がいると危険なのでボール遊びができない。ただの広場でいいのでもっと思い切り体が動かせる場所が必要だと思う。
- ・ 今、高倉に住んでいますが、気軽に歩いて遊びに行ける公園のような場所がなく、いつも車を気にしながら、家の周りで遊んでいます。子供達が集まる公園が近くに欲しいです。
- ・ 子供達が遊べる場所を増やして欲しい（アスレチックや広場、グラウンド）
- ・ アスレチックなどがある広い公園があればいいと思います。

- ・ 雨の時などに、小さい子から、小中学生でも遊べる場所を藤沢地区にも作ってほしいです。児童館も、大きい公園も坂の上で遠く、子供達だけでは行かせられません！
- ・ 雨の日に遊ぶところが無く、友達の家にあがってしまうので、考えてしまいます。学校の体育館は使用できないのでしょうか？
- ・ 雨の日に遊べる施設が近所にあるといいと思います。入間市は児童センター健康福祉センターなどありますが、藤沢地区からは車がないと不便な場所なので、公民館や集会所を時間を決めて開放すると近所の子供達で触れ合える場所ができてよいのではないのでしょうか。
- ・ 家の近くには公園がありません。あれば外で遊ばせたいと思っています。小学生の兄も友達と遊ぶ場が無く困っています。
- ・ 家の前や公園で遊んでいます。危ないと思うので常につきそっています。子どもの声や集まるのがうるさいと言う人もいます。そうなると、公園となり、一緒に行く事になってしまいます。虫とり、どろあそび、探けんごっこなど子どもだけで自由に遊べればよいと思いますが、なかなか難しいです。子どもの安全と自由をかねそなえた場所があれば、のびのびと育つのにと思います。工作が好きなので自由に作ったり、運動、秘密基地作りとかできる小学生以上（自分の時はありましたが）が使える施設が欲しいです。（児童センターは幼児向けなので）
- ・ うちのすぐ裏のわんぱく広場が住宅になってしまい大変残念でした。サッカーや野球等休日でもにぎわっていました。小学生が遊べるのは学校の校庭くらいしかありません。何か災害が起きた際でも多目的広場というのは必要だと思います！
- ・ 入間市には子供が思いきり遊べる遊具のある公園が本当に少ない。他の市まで車で連れて行って遊ばせるのはおかしいと思う。考えてほしいところ。
- ・ 入間市にはアリットというあまり意味のない場所がありますが、飯能市の阿須公園のようなワクワクする楽しい場を本気で作って欲しいです。
- ・ 入間市にもゲームセンターが多数できています。ゲームセンターを増やすなら、小さな子供たちが安心して遊べる場所、自然に親しめる場所を提供してほしいです。
- ・ 入間市は大きな公園が少ないように思います。自然が残る街なのでそれを利用した大きな公園、たくさん遊具、アスレチック等のある公園、プール等ができればよいと思います。
- ・ 入間はスペースが沢山あるようですが（公園内）、面白い遊具が見当たりません。お金のかかる物ですが（管理も）是非すばらしい児童公園が出来ますことを期待しております。
- ・ 大きな公園が無く、近々近所にできる予定だが、工事が進んでいる様子が無い。子供達の為にも早期完成を希望しております。
- ・ 学校から帰ったあと、家の近くで安心して遊べる場所がほしいです。
- ・ 各地区に公園があったらいいと思います。（場所によっては近隣に4～5ヶ所あるが、私の家の近くには歩いていけるような公園がないので...）
- ・ 学童ではなく、学童のような、子どもが自由につどえるような場所が家族以外にあればよい。同じ目線の大人の目もあればなお安心。
- ・ 近所に公園や広場がありません。遊具がなくてもいいので市内にもっとたくさんの公園があるとよいと思います。

- ・ 近所に中央集会場があるちびっ子広場という広場があるのですが、フェンスが高くはってあるのに野球は禁止になっています。近所の方からの苦情だとは思いますが、ボール遊びもできない公園で何をして遊べというのでしょうか？東小のうらにつくっている公園もつくっているといわれてからもう何年もたっています。もっともっと子供が近くで遊べるような広場や空き地があるといいなと思います。ちょっとした空き地などは市で借りたりして子供に開放してくれると良いと思います。
- ・ 現実に良い遊び場をつくってほしいです。
- ・ 公園を利用したいのに、遠くて行けなかつたりする事が多い。小さくても遊びの場が、住宅の中庭的にあつたら良いと思います。
- ・ 公園にて夕方になると、中学生や高校生が喫煙しています。あれは、小さい子が遊ぶ前で行うこととは思えません。注意が必要。
- ・ 子供達が安全に遊べる公園をもっと増やしてほしいです。
- ・ 子供達が外で思いきり遊べるような場所がほしい。例えば木の上に家をつくったりドロ遊びをしたり、自由に木登りができる場所で子供達だけだと危険なので時間のある大人が昔の遊びを教えたり、危険な遊びをしている子供達を注意するようなスペースがあつたら良いと思います。又、所沢市の学童保育はドロ遊びをさせたり自由にさせているが、人間市の学童はきまりが多く、ドロ遊び等の自由遊びが少ないので、何とか変えていければと思います。
- ・ 子供達がのびのび遊べる公園をふやしてほしい。遊ぶ所が近くにないで....。
- ・ 子供達がのびのびと遊ぶ場所が少なく、TV・ゲームに頼って体力が低下しているので心配な面がある。
- ・ 子どものあそびばとしての公園が少ないし、あつてもボールあそび禁止とたて看板があつたりで、おもいきり体を動かしてあそべる、ちょっとした公園がたくさんほしいです。
- ・ 公園など”ボール禁止”のところも多いようですが、使用できるようになれたらいいと思います。
- ・ 子供と一緒に遊べる楽しめる公園が人間市内には少ない。広くても遊具やアスレチックのようなものがない。雨の日でも体を動かせるような施設がないので1つくらいあつてもいいのでは・・・。大型ショッピングモールやゲームセンターが増えるよりよっぽどいいのではないのでしょうか？
- ・ 子どもとめいっぱい遊んであげられるのは今の年ごろくらいまでかな？！と思うので子育てめんどくさいって思っている人たちにも楽しみながら子育てする気になれるよーなサークルorイベントたくさんあるといいですネ。
- ・ 公園が家から離れていてなかなかつきっきりで公園に行く時間をもてません。その為家の中や家のまわりで遊ばせるしかないのですが、家の近くには同じ年頃のお友達がいないのが悩みです。
- ・ 高齢化社会となり、老人への福祉の充実には地方自治体も力を入れているように感じますが、これから社会を構成する人間を育てるため、子供に対する福祉は10年20年前と変わらないように感じます。保育所、幼稚園等、働く親のため、又、親と離れている子供のため、充実した施設が数多くできるとよいと思います。
- ・ 子どもは皆、家のすぐ前で遊びたいと思うのですが、思い切り走り回れる場所がないため、遠くの公園まで連れていきます。広い場所がないので、子ども達はゲームをするしかないのではないかと最近感じています。

- ・ 住宅地のわりには、公園がなく、道路で遊ぶことが当たり前のようになっている。立派な遊具などは、必要ないですが、子どものスペースがあるといいと思いました。
- ・ 少子化が進み、同世代のお友達との交流がないので、土、日など、児童センター・小学校などで、遊びの会のようなものがあると、親子でリフレッシュできると思います。（あがる小学校別で）
- ・ 近くに大きな公園もなく、家の前では車の交通が多いため、家の中で遊ぶことが当たり前になっています。なのでどうしてもテレビやゲームをする事が多くなってしまっているので、もっと近くに安心して遊べる所があればと望んでいます。
- ・ 近くに公園はあるのですが、そばに家があり、あまり大きい声であそんだりというのが難しい。時代がそうなのでしょうが、不審者とかがこわいので、子供だけではあそばせるのがこわいです。昔のように子供が・自由に走り回って遊べたらいいのと思います。
- ・ 数年前に近所の公園がなくなってからは、家の周りで遊ぶようになり車の往来がとても気になる。少し離れた公園に行くには低学年なので親が連れて行くことになりとても不自由。子どもが安心して遊べる公園がもっと増えるといいなと思う
- ・ 小さい公園でもいいので作って欲しい。子どもの遊ぶ所が少なすぎる。
- ・ サッカー・野球・バスケットなど、人数が集まらなると試合のような遊びができない。気軽に集まった人達でプレーできるような・・・そんな場所が欲しい。跳び箱や鉄棒を楽しく頑張れるような場所がほしい。
- ・ ボール遊びや自転車に乗って走りまわってもよい公園（空き地）があるとうれしいです。よく道路で遊ばせたりしますが大人がついていないと非常に危険です。
- ・ ボール禁止の公園が増えてきたように思います。子ども達の歩ける距離で自転車やボール遊びの出来る場所があるといいなと思います。
- ・ ボールを思いっきりけったり、自転車の練習をしたりできるような広い場所がもう少し身近な場所にあればいいなと思います。チャイムの時間が夏は6：00、冬は4：15と幅がありすぎて、夏は遅すぎる感じがします。夏の6：00を5：30とか、5：45でいいのではと思うことがあります。
- ・ 放課後の時間は、子供たちにとって大切な時間です。安心して楽しくあそべる場所が近くにあると良いと思います。近い公園では、ボールけりなどの遊びができるほど大きくないので
- ・ ボールを使って遊べる場所が、ほしいです。公園のほとんどはボール遊びができません。遊ぶにしてもルールを教えるのも大事だと思います。
- ・ 小さい子供が安心して遊べる場所が欲しいです。
- ・ 近くに遊べる場所（公園）がなく、大好きなボール遊びをする事が出来ません。子どものためにふれあう親子の時間を作っているつもりですが、外に出て友達と遊ぶ時は、事故・事件が気になり、安全な場所があればと思います。夏は日が長く子供にとってはもっと遊びたいと思うのですが、学校から戻ってから4時間もの離れた時間を心配で過ごしました。もう少し「良い子のチャイム」が早ければと思います。
- ・ 幼稚園児が遊べる遊具が公園に少なすぎる。子ども達ももっと元気に遊べる
- ・ 体を動かす環境を作ってほしい。
- ・ 児童センターの充実をお願いしたい。（近くの図書館だけではさみしい）

- ・ 時間があれば我が家は他市にある公園へこどもの希望で連れて行き遊びます。ここと違う点は、安全（親や大人の目がある）きれいに手入れがいきとどく、遊具が多く、危険性も少ない、等があると思いました。入間市も公園はきれいな所もありますが、今後更に安全でまた行きたくなる場を作って頂きたいと思います。Q19の他市は青梅市です。本当にいろいろありますが、代表で挙げると2つ。交通公園（無料で乗り物が借りられ、豊富な種類、何度でも行きたくなる）わかぐさ公園（広い。大人の目もしっかりある。安全な遊具で種類も多く楽しい。ミニ動物園も普通にある・困ってあるのみで無料）
- ・ 下藤沢地区に児童センターがほしい。
- ・ 土・日・祝日も子供を預けて母親が働けるような所があればうれしい。
- ・ 手入れが行き届いている公園とそうでない公園の差がはげしい。福祉センターの公園がいつも誰でも使用できるようになってほしい。
- ・ 日当たりのよいグラウンド程度の広場とあずま屋のある公園。（小学校区に1つはあってほしい）彩の森公園に遊具を設置してほしい。また、同上公園に夏場は噴水だけでなく水の流れる広場で遊べるようにしてほしい。
- ・ 藤沢地区にも雨の日でも遊ぶことができる施設がほしい。
- ・ 宮寺地区には公園らしい公園がなく、広場のような場所があっても、老人会のゲートボール場が多くを占めていて、子供は遊ばせてもらえません。子供が自由に遊べるスペースがあれば、もっと外遊びをさせるのですが・・・昔のように自然の中で遊ばせようと思っても不審者がうるついていたり、怖いので困ってしまいます。
- ・ もっと子ども達が安全に遊べる公園を増やしてほしいです。歩いて5分ぐらいの所に公園がありますが、踏み切りの横だからか、ボール遊びが禁止だし砂場もありません。そういうこともあって、子ども達は家の横の道路でボール遊びをしています。
- ・ 遊具のある公園を増やして欲しい。（因みに高倉地区です）
- ・ 遊具のある広々とした公園をもっと多くほしい。
- ・ 遊具の多い公園があると良いと思います。（アスレチックなど）
- ・ 幼稚園児に対しては放課後というよりも、休日何か参加できるイベントなどを企画していただけたらと思います。あと、未就園児が雨の日でも楽しく過ごせる場所（児童センター増設）などしてほしいです。

### アンケートを活かして欲しい

- ・ アンケートが実際に役立てられたら意味があると思うが現時点では不明。
- ・ アンケート結果などもっとみじかで解るとよいと思います。会場へ足を運べない人なども居ると思う。
- ・ アンケート結果をどう生かすのかによる。結果をただ知らせるだけならあまり意味はない。
- ・ アンケート結果を発表するだけでなく、実際に公園を作ったり何か行動をしないと意味がない。
- ・ アンケート全体がかなり大まかで、ここから大人ができることを探るとい趣旨は疑問です。
- ・ アンケートだけでなく、そんな遊び場をつくるとか、幼児の安全でかつ、いつでも遊べる場所等を具体的に検討していただけたらと思います。

- ・ アンケートで有意義なものに利用と書いてありましたが、目に見えるものとして実行していただきたい。
- ・ アンケートの意見を元にして具体的に活用してくれなければ意味がない
- ・ アンケートの結果から何がわかり、その後どのような対策を取るのかを知らせてほしい。（保護者会の時にでも）
- ・ アンケートの結果によって何か行動がおこされるなら意味があると思う。公園の整備なども行われると良いと思う。
- ・ アンケートを行ったら、どこかに見に行くのではなく結果を配布してほしい。
- ・ アンケートを参考にした上でどう動くかが大事だと思います。
- ・ アンケートをして、結果がでて、それに対して意見をまとめるだけでなく、行動にうつして頂きたい。今の時代、安心して遊ばせる事が難しく（特に外で）安心して遊べる遊び場をもっと増やして欲しい。
- ・ アンケートをしてそのまま終了ではなく、何か問題があれば、教えて欲しい。
- ・ アンケートをちゃんと意味のある事/materialにしてあそび場のない子供に何かして下さい。
- ・ アンケートをとっても、行政が動かなければ意味が無いと思う。行政が動くこと、前提にアンケートは実施して欲しいと思う。幼稚園が放課後の園庭開放したり、地域のサークルも出てきている中、行政はもっとこういった取り組みを理解するべきだと思う。
- ・ 降園後のアンケートをして、何か変わる事とか、あるのですか？家の近くに公園がなく、車の通りが激しいところにすんでいるんですけど、とてもこまっています。
- ・ 改善されるのなら意味がある。
- ・ 活用して頂ければ意味があると思う。
- ・ このアンケートの意味については、アンケートの回答者数がわからないので何とも言えない。
- ・ このアンケートの結果が、何か子ども達の有意義な放課後になる様、結びついたらよいと思います。
- ・ Q18 に対しての答えは、このアンケートが、反映されて始めてとても意味がある...だと思います。今の社会、ひとりっこ、母親の仕事で、子供が、ひとりで...というのが普通になっています。私自身心苦しいですが、遊んであげたくても、時間がない、疲れている等、何か自分に理由をつけて出来ないことを肯定しています・・・せめて遊べる場でのびのび子供らしく（ゲームなどではなく）させてやりたいと思いますが。
- ・ このアンケートが具体的に意味のあるものにして頂けたらと思います。
- ・ このアンケートの後、何か生活にかわるものがあるのか、わからない。ただ他の子供たち（同じ年頃）の生活、1日の過ごし方などがわかれば嬉しいと思います。
- ・ 市民がアンケートによって何か変化を感じたら意味があると思います。
- ・ このアンケートを行っても、子どもの学力や精神状態など他の状況と関連するデータを比較する等行っていかないと、単に今の子どもたちの生活スタイルの把握だけで子どもにとってどういう状況が良いのかという情報は得られないと思うので、この様ないかにも一応アンケートで調べました的なアンケートに意味があるのかどうか良くわかりません。
- ・ ぜひこのアンケートを、子どものための遊び場づくりに役立てていただきたいと思います。“子どもは外でのびのび遊ぶ”と、よくありますが、では、実際にそのような場所があるでしょうか？ 少

ないと思います。缶けり、鬼ごっこ、かくれんぼ、車の通らない場所で毎日、日暮れまで遊ばせてみたいです。

- ・ ただ展示・発表にとどまらず、少しでも子供たちの過ごしやすい環境をつくる為に役立つならとても意味があると思います。
- ・ この結果をぜひ生かして、子供たちの自由な活動、友人関係を育む遊びの場、大人たちとともに規律を学ぶ場等を提供して欲しいと思います。
- ・ このアンケートによって、子供達が安全に遊べる（遊ばせる事が出来る）場所が出来ればよいと思います。
- ・ 冒頭にある”子どもたちのために我々大人ができる事を探る”って、とても良い事ですし安心します。このようなアンケートを行って、子どもの為に何かが良くなっていくのならば素晴らしいですよネ（ウチは所沢市なのですが）
- ・ この後の分析、活用法に意味があると思います。
- ・ 今後次第
- ・ 今後にいかされれば意味があると思います。
- ・ 有意義なものに利用と書いてありましたが、このアンケートをへて、具体的に何にか活動していただけるのでしょうか？参考意見か・・・と少しがっかりします。
- ・ 調査をして変われば意味があると思います。
- ・ 発表をして、何か今後子供達に良い結果に結びつくか疑問。アンケートを取り、何か形になるのでしょうか。
- ・ 昔のように、子供だけで遊ばせておけないのが、いちいち親が付いて歩かなければいけないのが、とても苦痛に思う事がある。このアンケートをとって、何がどう変わるのですか？私は「今」小さい子を育てています。でも今すぐには、何も変わらないですよネ。

### 遊び相手がいない

- ・ 一番の悩みは学校からの帰宅後、誰と遊ぶかです。週に1～2回でも、学校を開放して遊ぶ時間を作っていただけるとありがたいです。
- ・ 同じ幼稚園のお友達など近くに住んでいないので、同じ年齢の子と遊ぶ機会がない。一番の遊び相手がお兄ちゃんになってしまっている。
- ・ 近所に同じ幼稚園の子が少ない為、同年代の子がどう過ごしているか興味がある
- ・ 環境的に近所に子供があまりいないので、幼稚園から帰って来てから近所の子と・・・とか同年代の子と遊べないのがかわいそうだと思っています。もっと子供にとっていい環境があれば・・・と思いますが・・・
- ・ 近所に同世代の同姓がいないので、遊び相手はいつも家族の誰かです。しかも、たまに遊びに来てくれたお友達と遊ぶのは家の中か道端です。（近くに公園などない為）みなさんがどのように過ごされているのか是非知りたいです。

## その他の意見

- ・「よいこチャイム」の時間ですが、狭山市・飯能市に比べて遅いような気がします。また、夏の間は18:00になりますが、低学年の子供には遅すぎるのではないのでしょうか。ご検討いただけたらと思います。
- ・「よい子のチャイム」が一番遅いのは6時ですが、6時ではかたづけや移動で家に入るのが6時半くらいになってしまうので、チャイムはいくら日が長いとはいっても5時半くらいに鳴らしてほしいと思います。
- ・「よい子のチャイム」が聞こえにくい場所があるので、スピーカーの増設などがあると助かります。
- ・小中学校の近くにアスレチック・広場等あれば、徒歩や自転車で行きやすい。
- ・体育館（校庭でも、広場みたいなものでも）の会報などでいただいて、ボランティアの方々の見守りの中、体を動かす遊びをしたり、グループ遊びみたいなものができたらよいなー、と思います。
- ・遊び方を知らないの、結局ゲームをしてしまいます。家の子は、比較的異年齢の子とも遊びますが、そういう機会を得ることは大切な事だと思います。
- ・意味があるものにしてください。
- ・1年生でも5時間授業だと遠い子だと家に帰るのが4時近いです。また習い事をしている子どもも多く、時間的にも近くに公園がないなど、子供達だけで外で遊べる環境がないと思います。
- ・8月29日付けの読売新聞で、全小学校で放課後教室を来年度から実施するという記事がありましたが、これについて人間市としてどのようにするのが教えてほしいです。
- ・Q6・Q7・Q8の質問は決まってもいないし、どれもあてはまる。特にQ8はいつもいろいろな事をして遊ぶので3つまで・・・と言われて困った。
- ・Q6・Q7は回答が1つにはしぼれないので複数に をしました。
- ・あぶないといつも安全な所をさがしてあげていたら、小学校に入ってあぶない事がわからないのでは。それよりも、子どもの通る道を、時間で通行禁止や一通にするなど車と人のラインを決めてくれた方が良いのではありませんか？むかしは家の前であそんでいましたよね！
- ・安心して子供をのびのび遊ばせることが出来る世の中を望み、遊びから学び、知恵をつけてゆけるのが理想に思います。単純な遊びを安心してさせ、自らの経験で回避してゆく力をつけて欲しい。
- ・家の手伝いはどれくらい、どんなことをしているものなのか...も知りたいなと思います。
- ・子供が小さい時は、社宅や集合住宅で男の子や女の子、年上年下ぐちゃぐちゃになって遊んで、子供同士で色々学んで欲しかった。コミュニケーションや思いやりやは教えるものじゃなくて、体験するのが一番わかると思う。
- ・お友達（園の、つまり人間市の）は体を使ってあまり遊んでいない様なので、役立てて、みんながもっと子供らしく遊べるようになるといいな。
- ・学童保育の学年延長や時間拡大
- ・学童の先生の人数を増やす（少ない人数でやりくりして頂いて感謝しています。）
- ・家庭での人間関係や生活習慣が本人の社会性に大きく関わっていくと思うのです。親の立場で考えてしまう所もあり、子ども中心の家庭教育のあり方が重要と感じています。
- ・帰宅後、どこで誰と遊んでいるか（特に低学年は）1人1人の親がきちんと把握してほしいです。それをお互いの親が分かっていないと何かあってからでは遅いと思います。



- ・ 子どもが（老人等含め）住みやすい街づくりは、一部だけでなく、もっと地域全体に浸透させて欲しい。
- ・ 子どもが幼稚園へ通っている場合、まだこの年代では、放課後はそれぞれの家庭のペースで、ゆったりと過ごす事も大切な時間だと思うので（午後家庭にいる子の場合。保育所・園の場合はまた事情が違うと思うが、家庭にかわって、園が子どもにとって午後は少しでも休める場であってほしいと思う。）遊び場にはそんなにこだわらない。友達と遊びたいければあるていど親同士がコンタクトをとって、車でも送迎できる。それが、小学生になるとかわる。とくに低学年の、まだ外で思いっきり遊びたい子どもたちが、家の近く（学区内に2つはほしい）で安心して遊べる場が欲しいと切実に思う。
- ・ 子どものことを考えるきっかけになりました。こどもの気持ちをきこう、と感じました。
- ・ 子供の事件が多い中で、毎日不安を感じています。子供の笑顔を大事にこれからも夫妻仲良く過ごして行きたいと思います。そして子供の成長を楽しみに日々暮らして行きたいです。
- ・ このアンケートには関係ないことですが、行政部署にお願いします。狭山市に比べると児童センターが少ないと思うので、できたらそのような施設を増やしていただけたらうれしいです。
- ・ このアンケートの結果を12/3に見に行けるかわからないので、プリントにしてくれるとうれしい。
- ・ 最近、サークル（幼児）がかなり減ってきているようなので残念です。親と子、ともにお友達作りができるたのしいサークルがあれば…。
- ・ 市の対応はおそすぎる。子供が中学生頃になるまで何の対応もないだろう。
- ・ 自分の子供以外のお友だちは放課後どのようにすごしているか知ることができると思います。
- ・ 市報にも載せたらどうでしょう。
- ・ 他の家庭のお子さん達が、どんな風に過ごしているのかなどあまり聞いてみる機会もなかったのので、アンケート結果を是非聞いてみたい。放課後、外で元気に遊ばせたいが、近くによい場がないなあとは感じます。
- ・ 年中の男なのですが、家の前の道路で遊ぶのも親と一緒にの方が良いと思いますが、なかなか毎回は忙しくて出られません。一人でも大丈夫だと思いますか？みなさんはどうしているのか知りたかったです。
- ・ 発達障害やコミュニケーションが苦手な子供向けの学童クラブの様なものがあれば良いと思う。
- ・ 日高に住んでいます。近所に子供がいっぱいいてまっ暗になるまで走り回って遊んでいます。人間のお友達は、あんまり遊ぶ場所がないのかな・・・と思います。車で移動しなくても、子どもが安心して遊べる”空き地”がたくさんあればいいなと思います。
- ・ フェスティバル下でのアンケートである為。これが実際に生かされた意見として、近い将来、子供達に有効な遊び場が出来る、学校として独自の教育をするというのであれば、アンケートをどんどん実施してもいいと思うが・・・。教育の場があまりにも事務的に処理されすぎと思う。
- ・ 冬は日が暮れるのが早い為、あっという間に暗くなってしまいます。この危険な世の中、住宅地、通学路、まだまだ街灯が少ないところがたくさんあります。もっとたくさんの街灯設置がされればと常に思います。

- ・ 放課後、子供がふらふらと遊べる子どもをさがしていたり、川のガケの林の中で遊んでいたりと、大人が知らない姿をよくはあくするキッカケになると思います。また、安心して遊ばせられる場所が増えるキッカケになってくれたらイイと思いました。
- ・ 放課後だけでなく、土日の様子も聞いてみるといいと思います。うちの場合は、学童に行っているため、放課後は友達と遊べないので土日に遊びます。親がいなくても安心して遊べる場所があれば、平日も学童に行かずに友達と遊ばせてあげたいです。（最近はしだいに学童に行かなくなってきましたが）
- ・ マンションに住んでいて、敷地内は車が来なくて安全だし、遊ぶ子もマンションの子なのでとても幸せな環境にいると思います。
- ・ 昔とちがい子供達が遊べる場所が限られてしまい、また、子供にお金を持たず親が多く買い食いや、コンビニ等で過ごす子供の姿が多く見られます。その反面、宿題の量が多く「ゆとり教育」が感じられません。やはり、土曜日学校があった方が良くと思います。
- ・ 昔は学校の校庭で遊べたものです。ぜひ学校を放課後開放していただきたいと思います。
- ・ 娘は毎日祖父母の家に帰宅しています。母が仕事をしていて帰宅時間に間に合わないからです。学童に入れようかと考えましたが、120%の人数を見ていて空き待ちと言われました。働く母が増えている今日、人間市は私が小さい頃から学童保育所の数も形態も変わっていません。安心して子供が過ごせる世の中ではないので、もっと手厚くするべきです。なぜ、東町小内に学童はないのですか?? うちが豊岡なので、東町学童は子供の足のエリア内ではないし、なぜ他校の豊岡小内まで行かなくてはなりませんか??
- ・ 来年度から、放課後に子供を預かる制度ができると新聞等で知りました。用事がある時、仕事で帰る時間が遅くなる時に利用したいと思いました。詳細は、まだ学校から知らされていませんが、早く知りたいと思いました。
- ・ 両親の帰りが遅い為、学童にもいけず一人または兄弟だけで待っている子どもたちがいる。その子供達がいられる場所があればいいなと思う。

## ま と め

今回のアンケート調査にご協力くださいました、保育所・保育園、幼稚園、小学校、中学校のみなさん、そして保護者のみなさん、先生方、本当にありがとうございました。アンケート調査の経験もなく、統計学の「と」の字も知らないメンバーたちであり、手探りで動き出したこの事業でしたが、駿河台大学の南林先生の適切なアドバイス、そして2420名ものご協力を頂き、この報告書を作成することができました。統計に「サイコロ」や「乱数表」を使うことに驚き、みんなで手分けして不慣れな入力も体験し、「まさに生涯学習だね」と妙に納得しつつ、ようやくここまでこぎつけました。改めまして、アンケートに関わって下さった多くの方々に感謝申し上げます。

さて、私たちは、アンケートを作成・実施する前に、「放課後の子どもたち」について、いくつかの仮説を立てました。「外遊びが減っているのではないか」「異年齢の遊びがなくなっているのではないか」「遊び場がないのではないか」「習い事に追われているのではないか」などです。冒頭にも書いたように、世間で心配されている子どもの姿です。

アンケートを実施して、「幼稚園に通う子どもが家に帰ったあと、あまり友達と遊ばないこと」「父親と夕食を食べる子どもが案外多いこと」「住居の形体と遊びには関わりがないこと」は意外でした。また、「ゲームをする子どもの割合が小学校入学を機に急に増えること」「メールの利用は学年が上がるにつれ増えていくこと」「習い事の種類が変化していくこと」「塾に通う子どもの増え方」などは、予想を超えてはっきりとした傾向が出てきました。それから「大人も子どもも“遊び”と“遊び場”の捉え方が変わってきていること」がわかります。遊ぶための「遊具」や「整った場所」が必要と考える姿が明らかになっているのです。本来「遊びとは何なのか」を考えさせられます。

アンケートの自由記入には、とても多くのご協力を頂きました。一番多かったのは「遊び場がない・遊び場がほしい」という声でした。特に「車の安全・不審者などからの安全な遊び場の必要性」「遊具の充実した遊び場」などはたくさんの意見がありました。「ボール遊びができ、のびのび走り回れる遊び場」が求められているのも分かります。児童センターのような施設が欲しい(主に藤沢地区)という意見も見られました。また「放課後の遊びの仲間・相手を見つけるのが大変」という方もいました。今回、自由記入の意見を頂いたのは、幼児から小学校低学年までの子どもを持つ保護者のみでしたので、中学年以上を持つ保護者の意見は少し違っているのかもしれませんが。「このアンケートを活かして、現状を改善して欲しい」という意見がとても多くありました。

我々がやらなくてはならないこと、やるべきことは、この結果を活かしていくことです。「地域と子ども部会」に参加していた団体・個人が、このデータを元に「自分たちにできること」を考え、人間市の子どもたちのために「子育てしやすいまち・子どもが子どもらしく育てるまち」を目指して行動していかなくてはなりません。そして、より多くの「いるまの大人」が一緒に考え、「いるまの子どもたち」のために行動するネットワークがますます広がっていくことを期待しています。

## 「地域と子ども部会」参加者の感想

各地で起こっている悲惨な事件、イジメ、非行など社会が崩壊している時、人間で子育て支援に関わっている市民と行政の連絡会が、人間の子供達は貴重な放課後何をしているのか？そんな不安な思いからアンケートで調査しようと始まってから、特に若いお母さん達？のエネルギーに圧倒されました。

アンケートをただの集計発表だけに終わらせるなんて思っていないのに、不信感、要望などを書いているお母さんも多かった。

アンケートをきっかけにみんなで課題を出し合い地域のかかわりを自分自身のこととしての関心だけで行政、学校に要望するだけではなく市民として住みよい地域、子ども達がのびのび育っていく環境づくりに参加するようになればと思います。

【岩崎佳子 障がい者手織り支援ボランティアグループ オリオン】

信じられない出来事が各地で起こっています。

いるま塾の会にとっては会員の孫となる世代の人間の子供もが、放課後、子ども自身が関わる地域が安心して過ごせるようにするのは大人の責任。

そんな導入でアンケートの結果から見えてくることを話し合いたいと思います。

自由意見で若いお母さんからの目線の意見、要望は多かったようですが、お父さんの考えも聞きたいように思います。アンケートをきっかけにみんなで課題を話し合い地域のかかわりをみんなで自分自身のこととして関心を持ち、行政に要望だけでなく市民として関わるようになればと思います。

【岩崎廣司 いるま塾の会】

「子どもたちがちゃんと遊んでいるのか知りたい」というのがこのアンケートに取り組んだきっかけだった。「ちゃんと遊べる」が何をさすのかはそれぞれの大人の価値観によって違うだろう。

確かにゲームのせいで、外遊びが減っているかもしれない。それから「習い事」のせいで遊び相手が見つげにくいかもしれない。アンケート結果によると保育所・園・幼稚園から小学校に入学するところで、ゲームで遊ぶ割合が急に高くなる。いろいろな解釈ができると思うが、「なるべくゲームはしないで、のびのび外で遊んで欲しい」といったような親の思いが幼児時代に働いていると私は受け取りたい。習い事について学年が上がるにつれ増えていくのも「チャンスを広げるための備え」という親たちの子どもへの思い（それがいいかどうかは別として）と見よう。私たちは現実について、悲観的な見方をし嘆くこともできるし、よいところを見つけて育てていくこともできる。

親同士が集まって子育ての話をする「どろだんごの会」を作ってから6年経った。今の世の中、「正解の子育て」はない。だから「これはおかしい」「これはいい」という自分の感覚を確認しつつ、その感覚をみんなで分け合いながら、一緒に子どものことを考えていく親同士のネットワークがとても大切だ。毎回一人ひとりの思いが少しずつ明らかになり、みんなが受け止め合う。その一步一步でそれぞれが親として育っていつている。そういう機会を子育てしている人たちみんなに送りたいと思う。

【関谷敦子 どろだんごの会】

アンケートの結果を見ると、こんなにも「遊び場がない、遊び場がほしい」というおとなたちの声があり、内容として車からの安全、不審者からの安全などを求めています。これは日本の中で起きている社会現象で、この状態は行政だけでは解決できるものでなく私たち一人ひとり、子どもたち自身も遊べる環境を考えていなくてはと強く思いました。そんな思いをこめてただ今、情報発信隊では『子育てわくわくマップ2改訂版』を発行するため準備をしています。引き続きこのマップの情報を元にまちに出て、人と出会い子どもがいるからこそ味わえる楽しいこと嬉しいことを自分たち自身でいっぱい感じて欲しいと思っています。

【山増智子 いるま子育て情報発信隊】

「アンケートを取ろう!!」と言い出したとき、正直「ゲゲッ!」と思いました。フェスティバルの催し等の動き出しが8月、開催が12/3と3ヶ月程度しかないので、無理があると感じたからです。けれども、やる気のある市民パワーでそこを何とか乗り切るのが生涯学習フェスティバルの良い所(?)でもあります。実際、集計結果を開催当日に展示し、多くの方に見てもらえたのですから…。

しかし、これからがこのアンケートの本領発揮です。このアンケートは子育てや教育に関わる様々な団体や施設等に配布し、個々の活動や事業、計画に役立て貰うために実施したものですから、この報告書をどのように料理されるのか、人間市の子どもたちとそれを取り巻く環境がどのようになるのか、楽しみです。

【芦沢早苗 生涯学習課 生涯学習文化財担当】

このアンケートを始める前に、いくつかの「予想」を立てていた。結果としてその予想通りだったのが、「ゲーム遊び」の多さだ。そして「ゲーム遊び」から「メール」へと、中学生になるとさらに変化していく子どもたちの遊びの世界が、今回浮き彫りになった。

もちろん、すべての子どもがゲームだけで遊んでいるわけではないし、外遊びも子どもたちは楽しんでいるようだ。

ただ、どの年代にでも共通していたのが、異年齢のかかわりがないことだ。

いつでも気楽にいけば誰かしら人が遊んでいる、という「広場」がなくなっている。それは単に「場所」がなくなっているからではなく、「安全で、安心して遊べる場所」を求める大人の意識が、「広場」そのものを失わせているようにも感じられた。

今年度人間おやこ劇場では、文部科学省の委託事業である地域子ども教室推進事業に取り組んできた。東町公民館の協力をいただき週に1回、その名も「ごろごろ」。放課後の子どもたちが遊び心を全開にして、思い思いの遊びを展開しているこの場は、アンケートの結果にあった「近くて、雨の日でも遊べる、安全な場所」そのものだし、今の時代にあった「広場」なのだと思う。

こういった場所が市内のあちこちに作れたら、どんなに素敵だろうと思う。

そのためには子どものこと、子育てのことを話せる仲間を地域の中にもっともっと広げていくことが大事だし、そのことがこのアンケート結果を活かすことにつながるのだと思う。

【野田あさ子 人間おやこ劇場】

今回、行政、市民活動団体、福祉・教育関係者など、乳幼児から青少年まで幅広い年齢層の子どもたちの育ちに関わっている人々が集まって、このアンケートに取り組みました。アンケートの中で幼児や低学年児の保護者の方に意見をうかがっています。人間市においても、多くの方が犯罪や交通事故などに巻き込まれる心配をしながら子育てをし、安全なあそび場所を望んでいることが確認できました。学習、食事、運動など子どもたちの育ちに必要な要素はたくさんありますが、特に乳幼児期から学童期の発達には、「あそび」が重要な役割をはたしています。不安定な社会状況の中で「あそび」をどうやって保障するか。子どもたちの放課後の生活実態や保護者の方の意見をもとに、自分なりに考えていきたいと思えます。

【中島理子 茶々子育て支援センター】

皆さんと一緒にこの催しに参加でき、集計など大変だけれど楽しかったです。

大変大きな仕事に参加したと自負しています。しかし、分析作業など 大変な部分は関谷さんなど他の方々にしていただいたので、感謝、感謝です。

【渡辺徹也 児童福祉課】

遊び相手に関して異年齢の遊び場がないこと、遊びの種類が自転車やゲームになっていることから、今の子どもに本来の遊び場が必要であると感じました。

【羽田二郎 あんず幼稚園】

研修会に参加して放課後の子ども達の居場所として「寺子屋」に取り組んだ事例を聞いた後だったので、人間市の子ども達は、どんなところでどんな事をして過ごしているのだろうか、自分でもとても興味深く取り組ませていただきました。

もう小さい子ども達から遠ざかっていたし、休日に近所の公園で子ども達の遊んでいる姿を見ることも数少なかったので、テレビ等の情報をただ鵜呑みにし、塾通いの子、テレビやゲームにはまっている子がたくさんいる事を想像していましたが、子どもは自分達でちゃんと遊びを見つけている事にとっても安心しました。

あと、時代の移り変わりでしょうか、何も無い自然の中で走り回ったり、異年齢の子ども達のかかわりが少なくなった事をちょっと寂しく思いますね。

また、子どもの安全の問題に関しては、各家庭の問題だけでなく子どもが健やかに育つために、地域のかかわりや助け合いがなくてはならないように思いました。「地域の子ども」として関心をもって皆で守っていけたら・・・子ども達の悲惨な事故も防げますよね。

このアンケートの結果をみて何ができるかと言われてもすぐには分かりませんが、アンケートで浮かび上がった子ども達の姿はいろいろ語りかけてくれているように思います。

【石川和子 いるまファミリー・サポート・センター】

「いるまファミリー・サポート・センター」が平成 15 年度に設立し、入間市の子育てに関わる機関・団体と何らかの連携を図っていきたいとの願いから、平成 17 年度いるま生涯学習フェスティバル、「いるま子育てしやすいまちづくり連絡会」に参加し、早くも 3 年を過ぎようとしています。

今回のアンケートを通して入間市の「放課後の子ども」の生活について、考え・気づかなければならない点が多々あったと思っています。「地域で子育てを」をかかげて子育てをお手伝いしている「ファミサポ」ですが、入間市の子ども達を取り巻く環境作りの一端を担えるように「今、ファミサポで何ができるのか」を考えて今後に生かしていきたいと思えます。

入間市が、「子育てしやすいまち」になるように願っています。

【若栗恭子 いるまファミリー・サポート・センター】

アンケートを通して、危険なことが多くの子の遊び遊ぶことが難しくなった今、地域の人と人とのつながりも子どもたちの遊ぶ環境には必要ではないかと感じました。今回のまとめを自分なりに受けとめ、今後活かしていきたいと思えます。

【相澤麻衣子 親子支援課】

短い期間の中で、皆さんの熱い思いで完成させました。本当に素晴らしいことだと思えます。その中で、皆さんへの協力ができなかったことを申し訳なく思っています。

【増岡茂 親子支援課】

我が子が高校生以上になると、今まで身近だった小、中学校、地域が急に他人事のように思えてくる、という言葉も多くの方が話すのを聞いて私もその中の一人として危機感を感じています。子どもが身近でなくなると目立った行動をとった子どもを見て『いまだきの子どもは...』とレッテルを貼ってみたいくなったり、注意したくなる様な場面を目にしても見て見ぬフリを試みたり。このアンケートだけではすべてがわかるわけではないけれど、子どもが身近でなくなった大人たちにも現状のいるまの子どもを知るきっかけになってほしいと思えます。子どもが住みやすく真に豊かな地域、社会を築けるかはそういう大人の私たちみんなにかかっているとあらためて感じました。アンケートの集計に初めて関わったけれどパソコンの苦手な私は皆さんの魔法のような操作にほれほれしながら、ハイテク(?)の一方でサイコロの一振りが貴重な数字に生かされたり、と驚きのアンケート集計でした。

【入倉千代子 保育士】

私も義務教育中のこども、もうちょっと大きいこどもを抱えて毎日あくせくしています。おまけに欲張り、こどもは元気に遊んで欲しい・でも勉強もそこそこできてほしい！仲間はずれになっては困るからゲームも無いとだめかしら？心配と不安を、ついこどものせいにして、怒ってみたり...

今回のアンケートをまとめながら 入間のこどもたち・親たちは私が考えていたよりずっと家庭を健全に営んでいることにほっとしました。お父さんも一緒に夕飯を食べている様子が 分かりちょっと自慢！？私たちには、子育てに困った時、相談できる仲間がいっぱいいます。安心して親業・こどもしましょう。一緒に活動させてもらったメンバーに感謝いたします。

【矢野彰子 だるだるの会】

代表をはじめ私たち会員の皆さんの英知と努力によって、市民の視点に立ったわかりやすい報告書を完成することができたのではないかと思います。

【岡野隆 生涯学習課社会教育青少年担当】

放課後の子どもたちには、学校の空き教室、公民館など、場所を提供してもらえる場所で、地域の大人がボランティアで遊ぶ場をつくるというのはどうでしょうか？みんなでアンケートを元に知恵を出し合って、実現に努力していきましょう。

【亀谷蓉子 NPO法人子育て広場あいくる】

子どもの遊びについて、人間市というひろがりで考えると、おとなはまず「遊び場」が不十分だと指摘します。それはそうですが、でもそれが、全天候型の、小さい子が安心して遊べ、大きい子はボール遊びができる遊び場で、しかも家の近くにとという要望になってしまうのはどんなものでしょうか。

ちょっと考えれば、こんな「遊び場」なんて不可能です。町のまん中に東京ドームの何倍かの遊び場を作り、そのまわりを住宅が囲むようにでもしますか？

神奈川県海老名市の「ファンタジーキッズリゾート」みたいな大型の室内遊戯施設も出現しましたが、おとなの安心のためのこういう施設は子どもにはあまり遊びがたがよくないようです。

遊び場の問題が大切でないとはいいませんが、子どもは遊び場があるから遊ぶのではありません。遊びたくて、遊びたくて、遊ばずにはいられないから遊ぶのです。その意味では、子どもの遊びたい要求、子ども自身のニーズにおとなはもっと注意をはらうべきではないでしょうか。

そして、そのニーズをみとめるために、自分に何ができるかを探るという方向で、このアンケート結果を読み解いてほしい、とぼくは思います。おとなは子どもの遊びのジャマをしていないでしょうか。とりあえず、そのジャマをガマンするところからはじめてみたらどうでしょう。

冒険遊び場（プレーパーク）運動というのが全国に広がっていますが、それらは、市民のボランティアからはじまっています。本当の子どもの遊び場は、だれかに作ってもらうのではなく、子どもとおとなが共同して作り出すものなのです。どういう遊びや遊び場を子どもが望んでいるのか、共同作業を通して学んでいければと思います。

【斎藤次郎 教育評論家】

